

高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画

～ 歴史や風土を活かし、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまちをめざして ～



御畳瀬

長浜



浦戸

高 知 市

はじめに

雄大な太平洋を臨む高知市の南部地域は、桂浜などの観光名所をはじめ、坂本龍馬や長宗我部元親公といった郷土が誇る歴史的人物に関係が深い地域として、多くの歴史資源が存在する、本市における重要なエリアです。

一方、人口減少問題が我が国全体の大きな課題となる中、本市も人口減少が進んでおり、現在の約33万人の人口に対し、国の推計では2060（令和42）年に約20万4,000人まで減少することが想定され、2015（平成27）年度に「高知市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、人口減少の克服に向けて取り組んでいるところです。

中でも、近い将来必ず来ると言われる南海トラフ地震で、津波被害が想定される高知市沿岸部の長浜・御豊瀬・浦戸地域の人口減少は特に著しく、1985（昭和60）年から2016（平成28）年までの人口減少率は御豊瀬地域がマイナス63.7パーセント、浦戸地域がマイナス48.0パーセントと、市内で最も高い人口減少率となっており、地域の衰退が顕著に表れ、早急な対策が必要な状況となっています。

本市北部の中山間地域にあたる鏡・土佐山地域や田園地域にあたる春野町、また、中心市街地においてもそれぞれ地域の特性に応じた様々な地域振興策に取り組んでいます。長浜・御豊瀬・浦戸地域につきましては、これまで地域住民等によるコミュニティ活動など様々な地域活動を実践していただいておりますが、行政として人口減少に打ち克つ対策を地方創生の取組として、同地域の振興に重点的に取り組むこととし、これまで地域の方々との協議を重ね、地域から振興策についてご提案もいただきました。

いただいたご提案をもとに、2019（令和元）年11月にはそれぞれの地域の行事を同時開催し、それらを周遊する地域と行政が一体で取り組むイベントを実施しました。当日は地域内外から多数の参加者を迎え、にぎわいを見せるとともに、今後の長浜・御豊瀬・浦戸地域振興につながる可能性を改めて感じました。

本市として、可能な限り地域の皆様のご提案にお応えしつつ、総合的な地域振興策として、「高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画」を策定し、「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った形で、同地域の活性化、人口減少対策に積極的に取り組んでまいります。

令和2年3月



高知市長
岡崎 誠也

目次

第1章 計画策定にあたって

1 人口減少問題	1
2 計画策定の背景	2
3 地域の動き	3

第2章 地域の現状と課題

1 長浜・御豊瀬・浦戸地域の概要	4
2 人口の動向	5
3 経済・産業の動向	14
4 その他	19

第3章 計画の内容について

1 計画の概要	21
2 計画の位置付け	22
3 計画の体系	24
4 取組イメージ	26
5 取組概要と主な内容	27

第4章 計画の推進に向けて

1 推進体制	44
2 計画の進捗管理	46

1 人口減少問題

現在、我が国は人口急減・超高齢化という大きな課題に直面しています。人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対しても大きな重荷となってくるとともに、市民生活や地域経済にも深刻な影響を及ぼし、地域社会の存続にも関わる事態となってきます。

直面するこの人口減少問題への対応として、政府では2014（平成26）年度に「まち・ひと・しごと創生法」の施行、2060（令和42）年に1億人程度の人口を維持する将来展望を掲げた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、その実現に向けた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」、「地方への新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」という4つの基本目標を掲げ、国を挙げての人口減少の克服に向けた各種政策を進めています。

本市の人口減少においても、2015（平成27）年に実施した国勢調査の結果では、2010（平成22）年からの5年間で約6,200人の人口が減少、さらに現在も人口の減少が進んでおり、深刻な状況となっています。

こうした国の動きを受け、本市においても2015（平成27）年度に2060（令和42）年の人口目標を28万人とする「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と、その実現に向けた5か年戦略である「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、産官学金労言の関係者や市民活動団体など様々な立場の方々からもご意見をいただきながら、人口減少克服に向けた取組を進めています。

2 計画策定の背景

高知市における地域別の人口減少の状況は、中心部における一部の地域では若干人口が増えています。ほとんどの地域では人口が減少しており、中でも、高知市沿岸部に位置する長浜※、御畳瀬、浦戸地域は、市内でも特に高い減少率となっており、地域の衰退が顕著に表れ、早急な対策が必要となっています。

人口減少が見込まれている中山間地域や市内中心部においては、これまで過疎地域自立促進計画や中心市街地活性化基本計画に基づく様々な地域振興策に取り組むほか、田園地域にあたる春野町においても市町村合併時に策定しました新市まちづくり計画の実施による地域振興への取組を進めています。

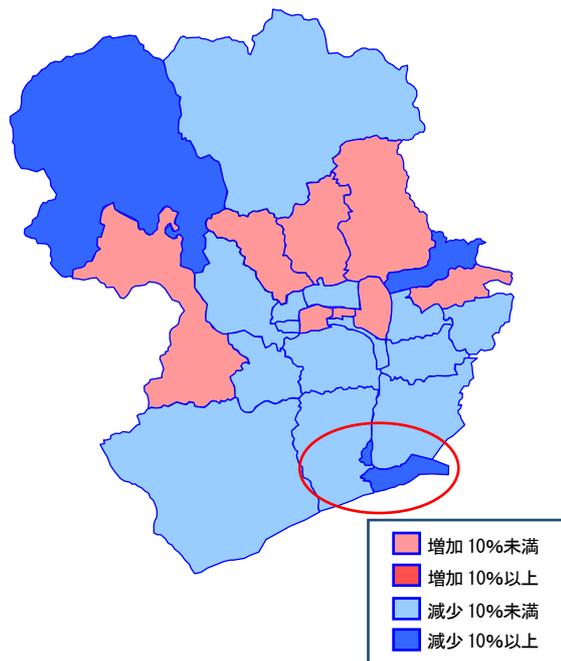
地方創生に向け、本市の「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で様々な施策に取り組む中、特に長浜・御畳瀬・浦戸の沿岸部3地域について、重点的に人口減少対策、地域振興策に取り組む必要があることから、実効性のある地域振興策として、「高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画」を策定し、地域と共に様々な課題解決を図りながら、持続可能な社会の実現に向けて取り組むこととしました。

※瀬戸、横浜、横浜新町、長浜時絵台を除く長浜エリアとします。

大街別人口増減の状況 (H22⇒H27 国勢調査)

人口増減率			
1	高知街	3.1%	14 介良 Δ4.1%
2	初月	2.1%	15 上街 Δ4.2%
3	北街	1.9%	16 潮江 Δ4.4%
4	大津	1.6%	17 高須 Δ5.3%
5	下知	1.3%	18 三里 Δ5.4%
6	朝倉	0.5%	19 五台山 Δ5.5%
7	秦	0.5%	20 春野 Δ5.8%
8	一宮	0.2%	21 土佐山 Δ6.7%
9	旭街	0.0%	22 南街 Δ7.5%
10	鴨田	△1.9%	23 鏡 Δ11.1%
11	長浜	△2.2%	24 布師田 Δ12.8%
12	小高坂	△2.5%	25 浦戸 Δ13.1%
13	江ノ口	△2.8%	26 御畳瀬 Δ18.0%

※長浜(対象地域)の人口減少率は、△6.9%
(H22⇒H27 住民基本台帳 10月現在比較)



3 地域の動き

長浜・御豊瀬・浦戸地域の振興計画の策定にあたっては、地域住民等から、日頃、様々な地域活動や事業活動を通して感じている思いなど、幅広く意見を聴くことが重要となることから、2017（平成29）年度以降、地域住民で設立された団体と協議を重ねるとともに、地域への移住者や、地元の中学生、大学生などからもご意見をいただきました。

地域住民との協議では、2017（平成29）年9月に設立された地域コミュニティに関わりのある方を中心とした「長浜・御豊瀬・浦戸地域活性化協議会」を中心に、約1年半、50回を超える会で検討を重ね、2019（令和元）年5月8日に、地域の歴史や文化などを活かした地域振興策を盛り込んだ提案書としてとりまとめられ、地域振興につながる取組の提案のほか、地域の意見にワンストップで答える「市役所の組織体制づくり」や、振興策を進めるために必要な「財政支援」、地域づくりのための「人材支援」などの計画を推進するうえでの体制面に関するご意見もいただきました。

また、地域に関わりのある事業者などを中心とした「南部振興計画経済部会」からも、2019（令和元）年5月10日に、地域活性化のためのご提案をいただくとともに、新たに植え付けしたサツマイモを原料にしたお菓子の開発や地域の観光地や飲食店を紹介する「長宗我部村総合マップ」の作成など活動状況の報告をいただきました。また、呉服店を「お遍路さんの無料接待所」として改装し、地域の交流の場につなげるなど、地域活性化に向けた取組を実践されています。

地域からの提案・活動報告を受けて、庁内で検討を行い、今回、本市の行政計画として「高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画」として取りまとめ、「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を補完する計画として、長浜・御豊瀬・浦戸地域の活性化に向けた取組を地域の方々とともに進めていきます。



1 長浜・御豊瀬・浦戸地域の概要**(1) 長浜地域**

長浜地域は、太平洋に面した長浜海岸や宇賀山など自然に恵まれた地域であり、神社や寺など名所・旧跡のある歴史的な趣のある地域として、長浜商店街を中心に発展してきた「土佐の鎌倉」とも呼ばれる地域です。近年は、県道桂浜線の開通に伴い桂浜への通過点となる一方で、商店街の衰退などの問題も生じています。

(2) 御豊瀬地域

御豊瀬地域は、風光明媚な浦戸湾内の西部に位置しており、漁業のまちとして発展してきた地域で、沖ウルメなどの海産物や史跡、歴史を物語る町並みなどが今も残っています。

若年層の流出に伴う年少人口の減少により、2012（平成24）年3月には御豊瀬小学校が閉校となるほか、老年人口の増加による高齢化の進行、漁業の後継者不足が深刻な問題となっています。

(3) 浦戸地域

浦戸地域は、高知市の南端に位置しており、雄大な太平洋に面した海岸沿いには四季折々の花が咲き誇る「花海道」や全国的にも有名な観光名所「桂浜」、長宗我部元親が居城とした「浦戸城址」などの多くの史跡を有し、古くから観光や沖合沿岸漁業を中心産業として発展してきました。

近年は、人口減少や少子高齢化が進行しており、人口の定着や地域の活性化が課題となっています。



2 人口の動向

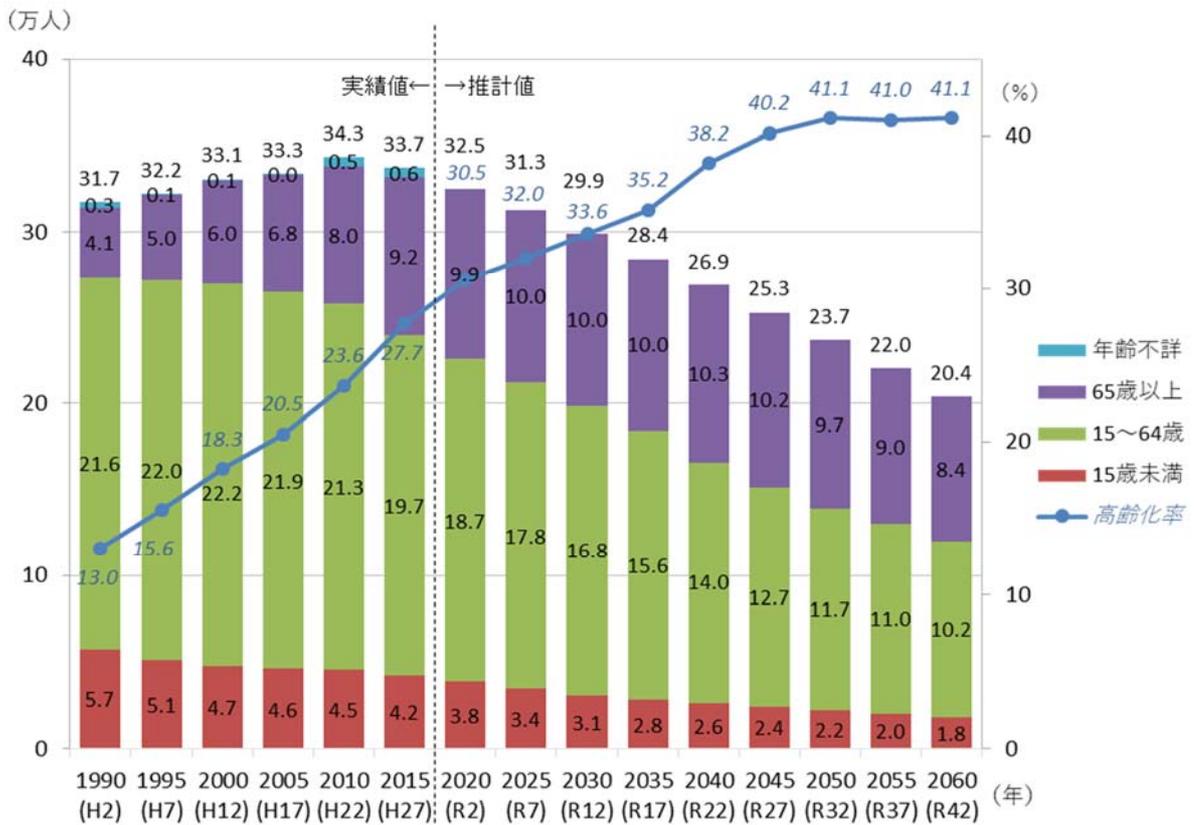
(1) 人口の推移と見通し

国勢調査に基づく本市の総人口は、2010（平成22）年をピークに減少に転じており、今後も減少していくことが見込まれています。また、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15～64歳）が減少する一方で老年人口（65歳以上）は増加し、高齢化率も上昇することが予想されています（図表Ⅱ-1）。

長浜・御畳瀬・浦戸地域全体では、市全体よりも10年早い2000（平成12）年をピークに人口が減少に転じていることに加えて、高齢化率も市全体よりも早いペースで上昇しています（図表Ⅱ-3）。特に、御畳瀬・浦戸地域はさらに早く人口減少に転じているほか、高齢化率の上昇スピードも顕著であります。

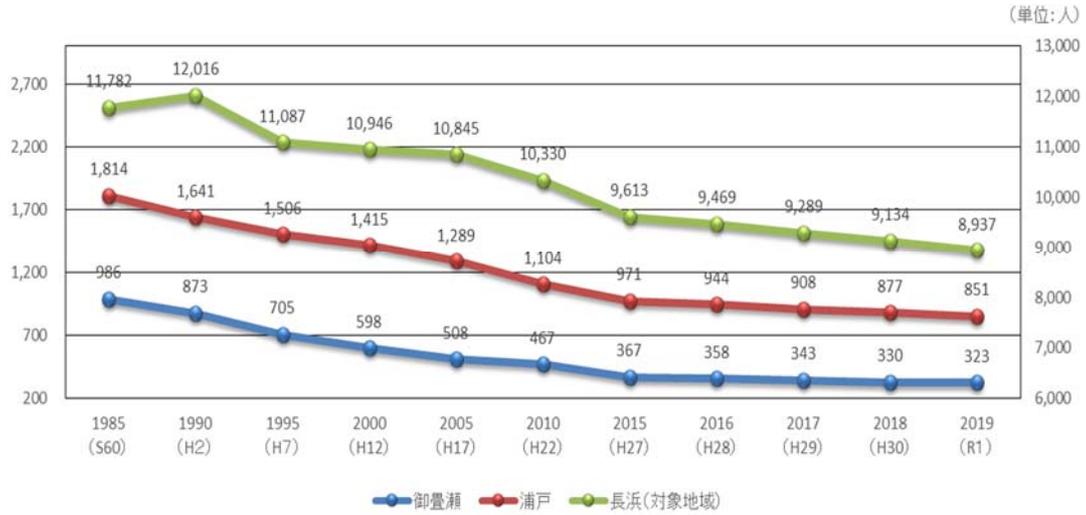
御畳瀬・浦戸両地域の振興や活性化の方策を検討するにあたっては、地区単独での取組には自ずと限界があることから、地理的な特性を考慮して長浜地区を加えた地域全体で一体となった取組を検討し、人口減少下においても、それぞれの住民が住み慣れた地域で安心して生活できるような手立てを講じる必要があります。

図表Ⅱ-1 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し（高知市）



（資料）総務省「国勢調査」、高知市「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

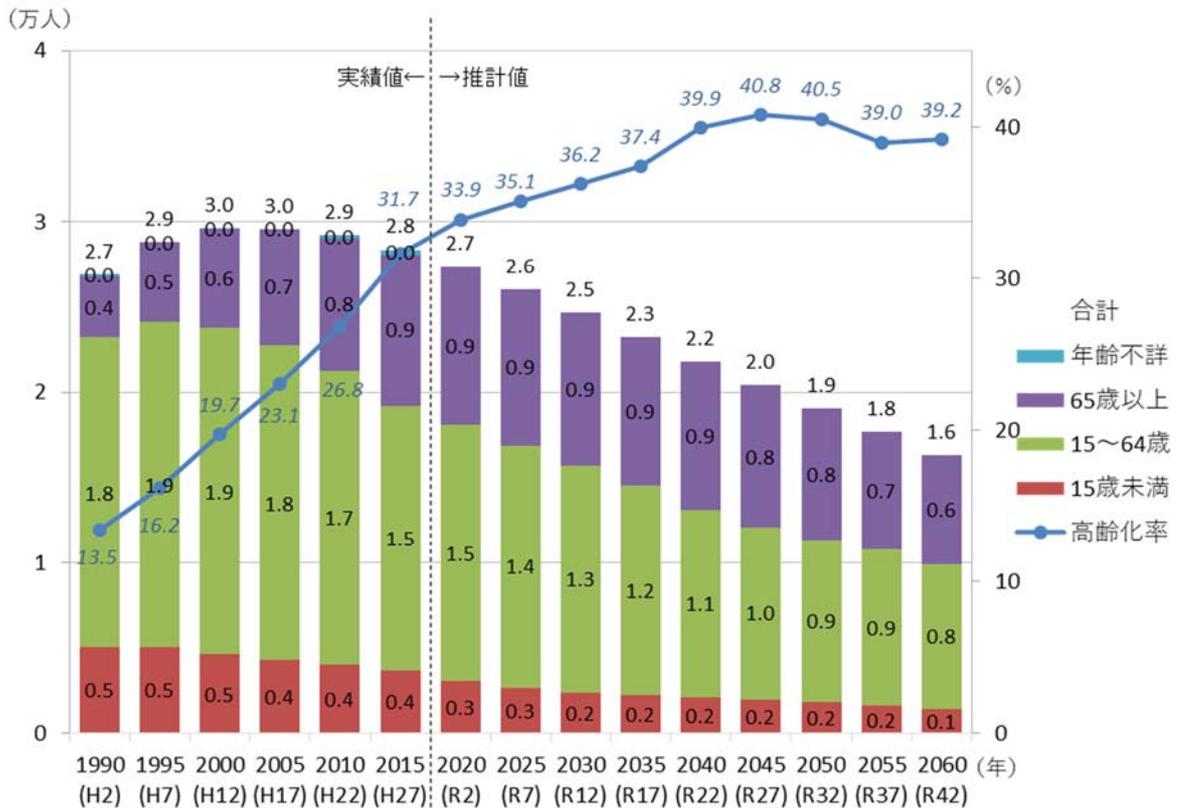
図表Ⅱ-2 長浜（対象地域）、御豊瀬、浦戸地域の人口推移



(資料) 出典：住民基本台帳（各年10月1日現在）

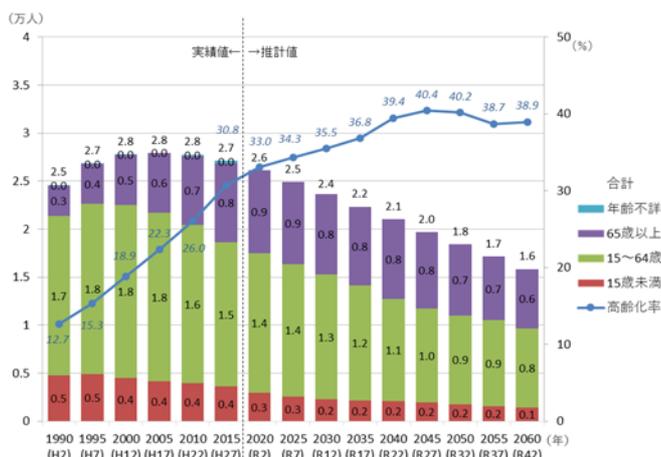
注：長浜地区（対象地域）は瀬戸、横浜、横浜新町、長浜蒔絵台を除くエリア

図表Ⅱ-3 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し（長浜・御豊瀬・浦戸）



(資料) 総務省「国勢調査」、高知市「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

図表Ⅱ-4 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し（長浜）



(資料) 総務省「国勢調査」、高知市「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

図表Ⅱ-5 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し（御畳瀬）



(資料) 総務省「国勢調査」、高知市「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

図表Ⅱ-6 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し（浦戸）



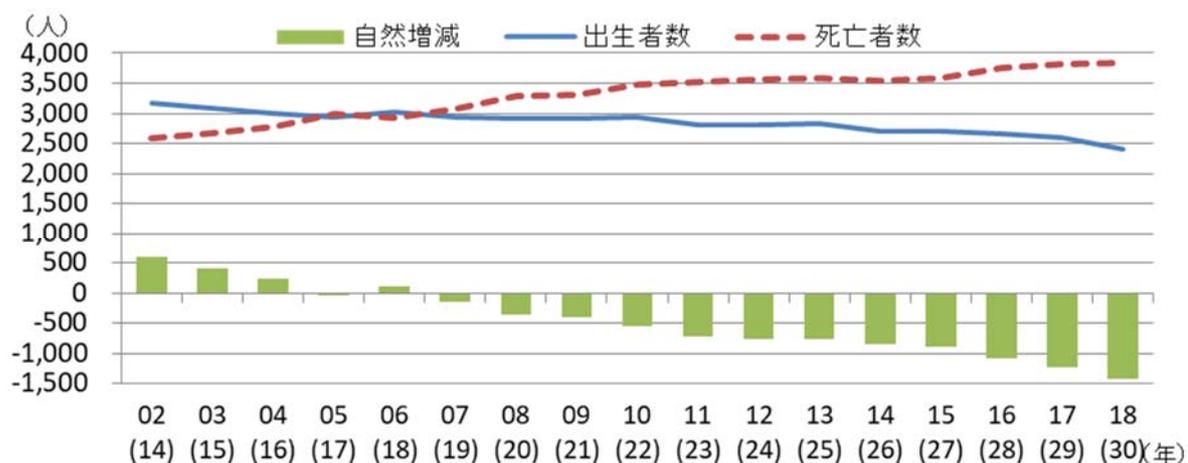
(資料) 総務省「国勢調査」、高知市「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

(2) 自然増減の動向

本市の自然増減（出生者数・死亡者数）の動向を見ると、2005（平成17）年に初めて死亡者数が出生者数を上回る自然減となり、翌年、再び自然増となったものの、2007（平成19）年以降は一貫して自然減の状態であり、その減少幅は拡大傾向にあります。（図表Ⅱ-7）

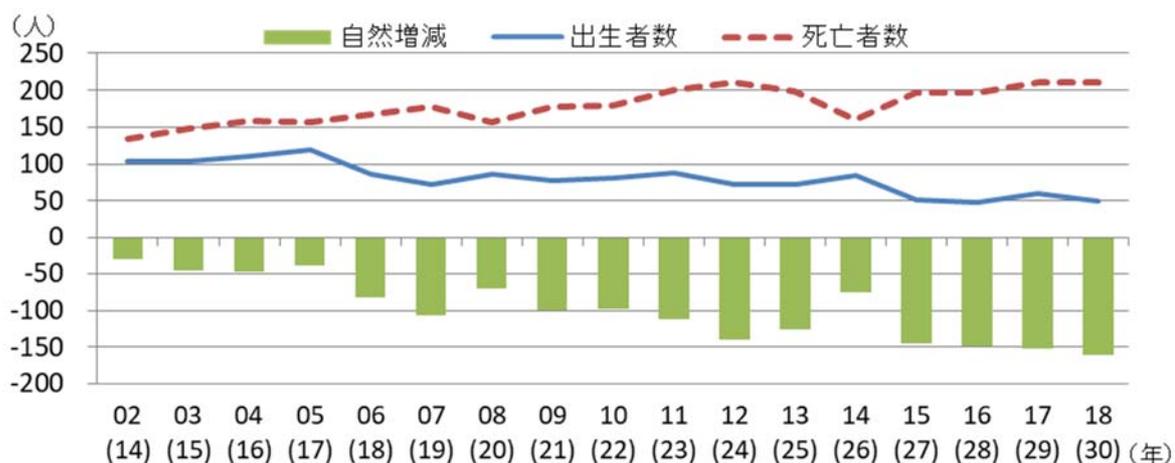
長浜・御畳瀬・浦戸地域は、市全体よりも自然減状態に陥るのが早く、以降も自然減状態が継続しており、市全体と同様に減少幅は拡大傾向にあります。また、御畳瀬・浦戸両地域では出生者数が0となった年もあり、住民が安心して出産でき、地域全体で子育てを支えていけるような地域づくりが求められています。

図表Ⅱ-7 自然増減の推移（高知市）



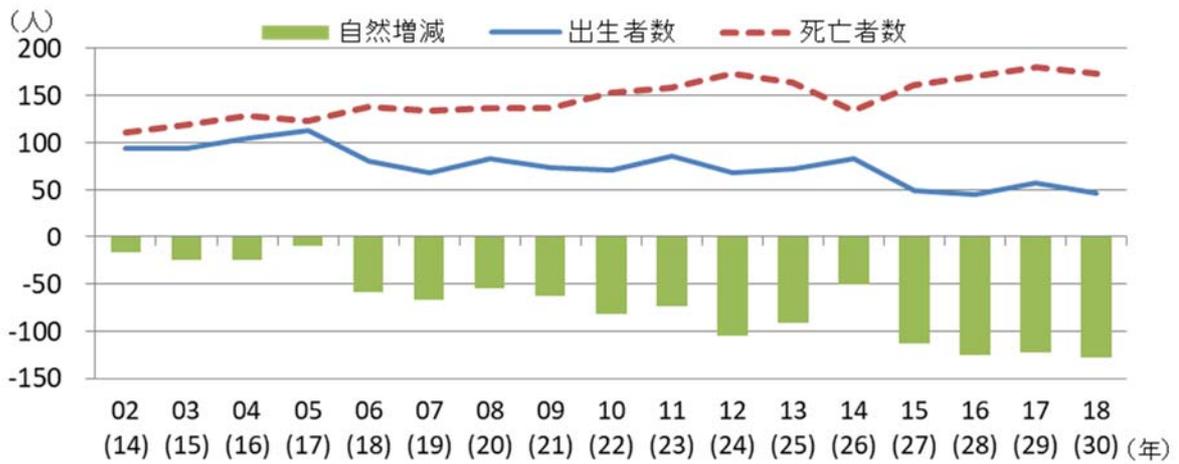
（資料）住民基本台帳

図表Ⅱ-8 自然増減の推移（長浜・御畳瀬・浦戸）



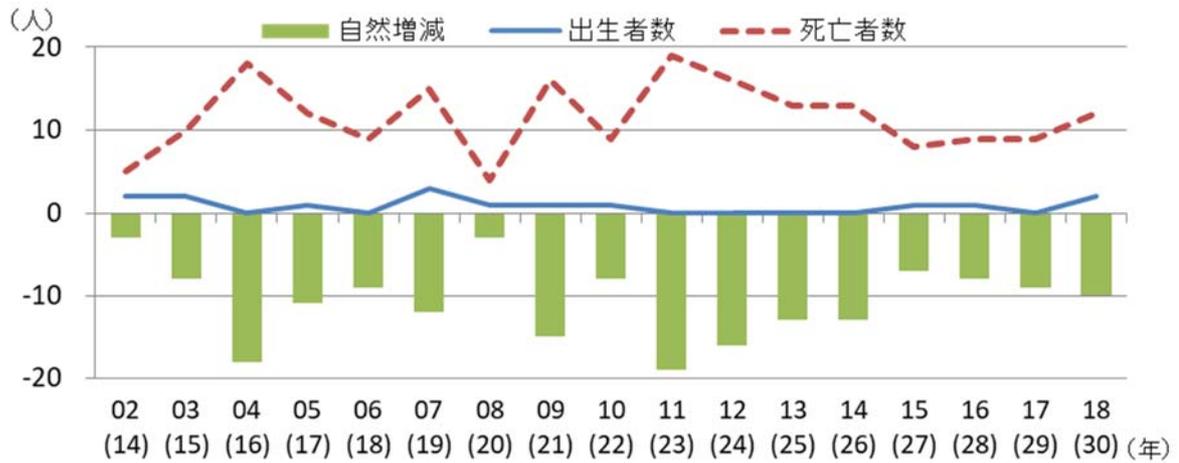
（資料）住民基本台帳

図表Ⅱ-9 自然増減の推移（長浜）



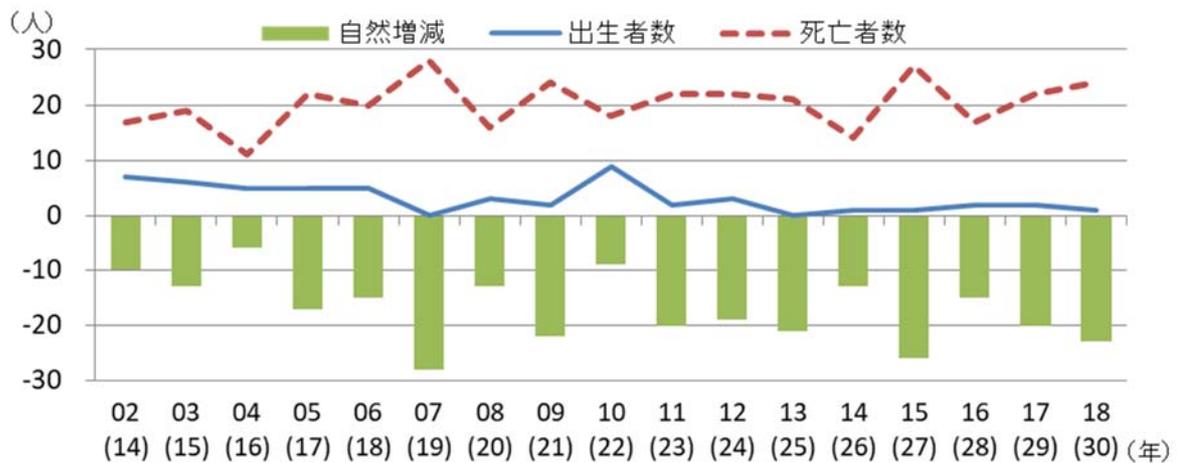
(資料) 住民基本台帳

図表Ⅱ-10 自然増減の推移（御畳瀬）



(資料) 住民基本台帳

図表Ⅱ-11 自然増減の推移（浦戸）



(資料) 住民基本台帳

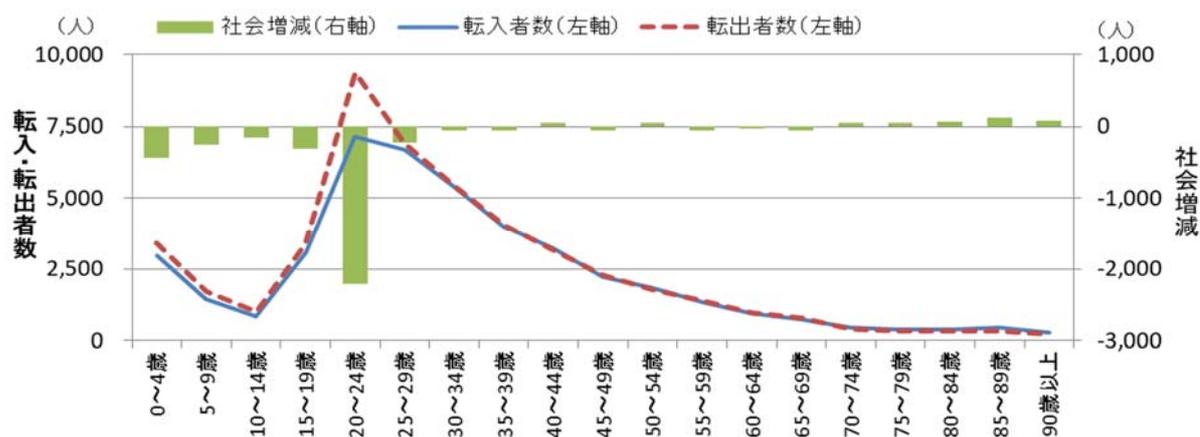
(3) 社会増減の動向

本市の社会増減（転入者数・転出者数）の状況を年齢5歳階級別にみると、20～24歳における社会減が著しく、この世代の若者が進学や就職を機に市外に転出していることがうかがえます。（図表Ⅱ-12）

長浜・御畳瀬・浦戸地域においても0～4歳，20～39歳といった年齢層の社会減の傾向が顕著であり，地域における様々な社会活動を支えるための中心となる層が，進学・就職や結婚・出産等のタイミングで地域外に転出をしていることがうかがえます。

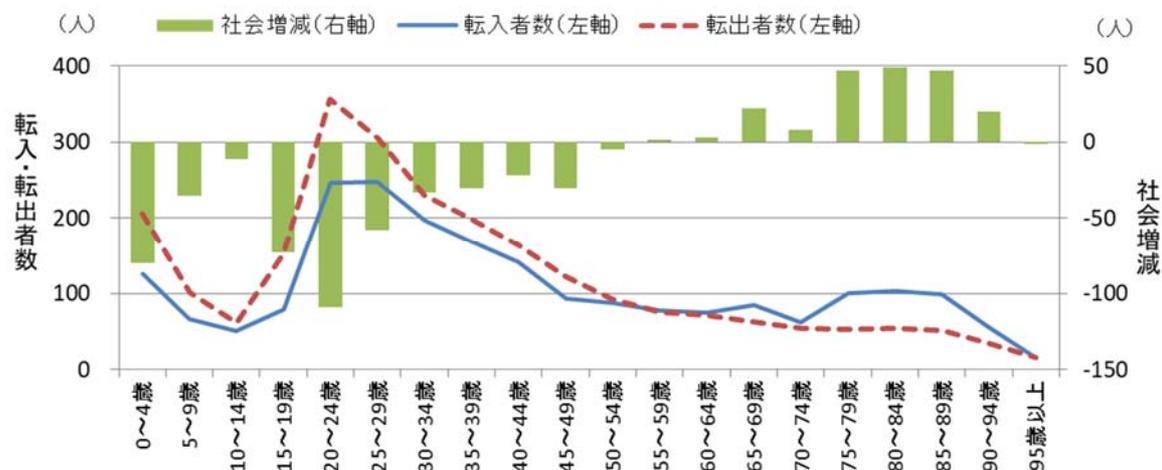
地域の次代を担う世代が「地域で引き続き生活したい」「いずれは県外から地域に戻って生活したい」と感じ，その希望を実際になえられるよう，生活の利便性や満足度を高めるための取組を行っていくことが必要です。

図表Ⅱ-12 社会増減の推移（2014（平成26）年～2018（平成30）年合計）（高知市）



（資料）総務省「住民基本台帳移動報告」

図表Ⅱ-13 社会増減の状況（2014（平成26）年～2018（平成30）年）（長浜・御畳瀬・浦戸）



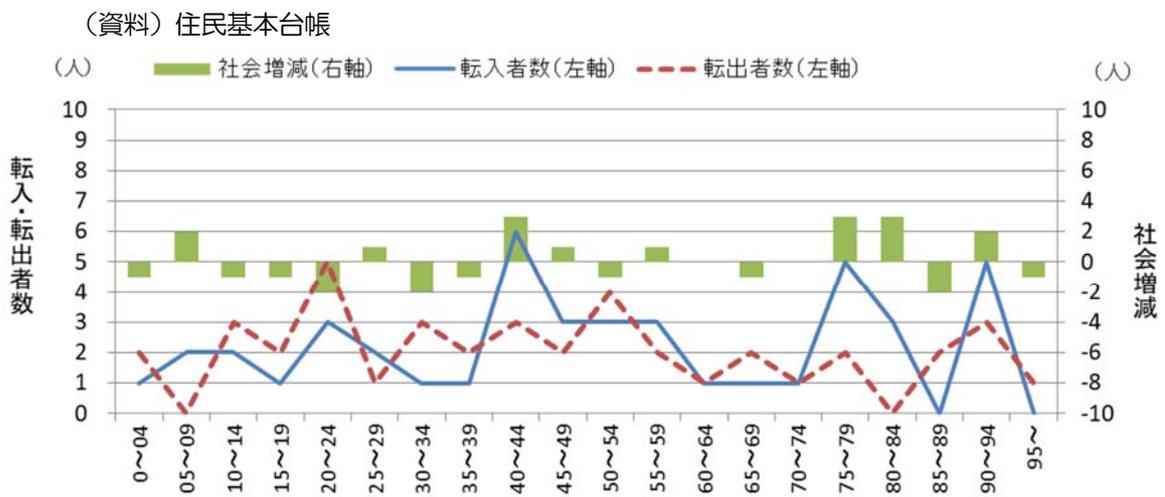
（資料）住民基本台帳

図表Ⅱ-14 社会増減の推移 (2014 (平成 26) 年~2018 (平成 30) 年合計) (長浜)



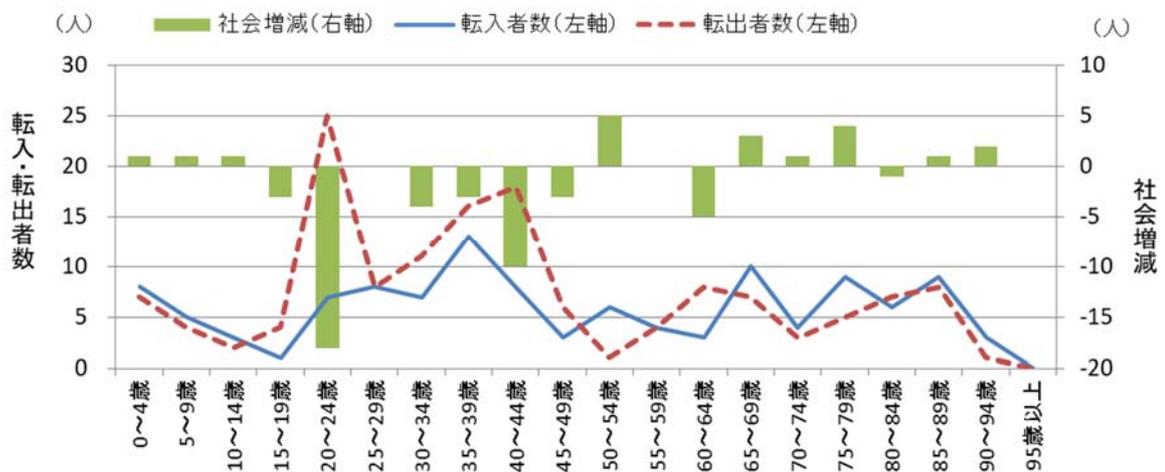
(資料) 住民基本台帳

図表Ⅱ-15 社会増減の推移 (2014 (平成 26) 年~2018 (平成 30) 年合計) (御畳瀬)



(資料) 住民基本台帳

図表Ⅱ-16 社会増減の推移 (2014 (平成 26) 年~2018 (平成 30) 年合計) (浦戸)



(資料) 住民基本台帳

(4) 小中学校・保育園（児童生徒数・園児数）の動向

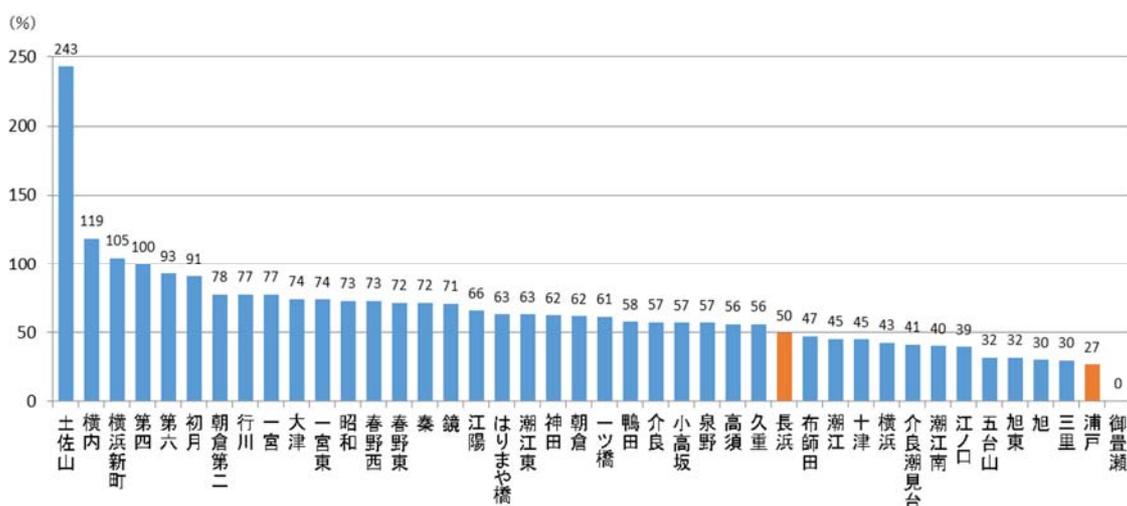
本市及び対象地域における小中学校の児童生徒数の動向をみると、市全体の小学校（国立・私立除く）の児童数は1989（平成元）年から2019（令和元）年までで約7,700人、33%あまり減少しており、本計画対象地域でみると、長浜小学校は約390人、50%あまり、浦戸小学校は約90人、73%あまりの減少となっているほか、御豊瀬小学校は児童数の減少により2012（平成24）年3月に閉校となっています。

中学校（国立・私立除く）の生徒数は同じ期間で約5,400人、48%あまり減少しており、本計画対象地域にある南海中学校は約680人、78%あまり減少しており、市全体を上回るペースで児童生徒数の減少が進んでいます。

保育園についても、長浜保育園は園児数が大きく減少しており、あらか保育園は2013（平成25）年3月に閉園となっています。

児童・園児数や小学校・保育園の減少は、地域のにぎわいや拠点としての施設の活用が大きく影響すると考えられるため、児童・園児数の確保のため、子育て世帯に対する様々な支援を検討し、地域において子どもがのびのびと育つための環境を整備していく必要があります。

図表Ⅱ-17 小学校別児童数（1989（平成元）年＝100）の状況



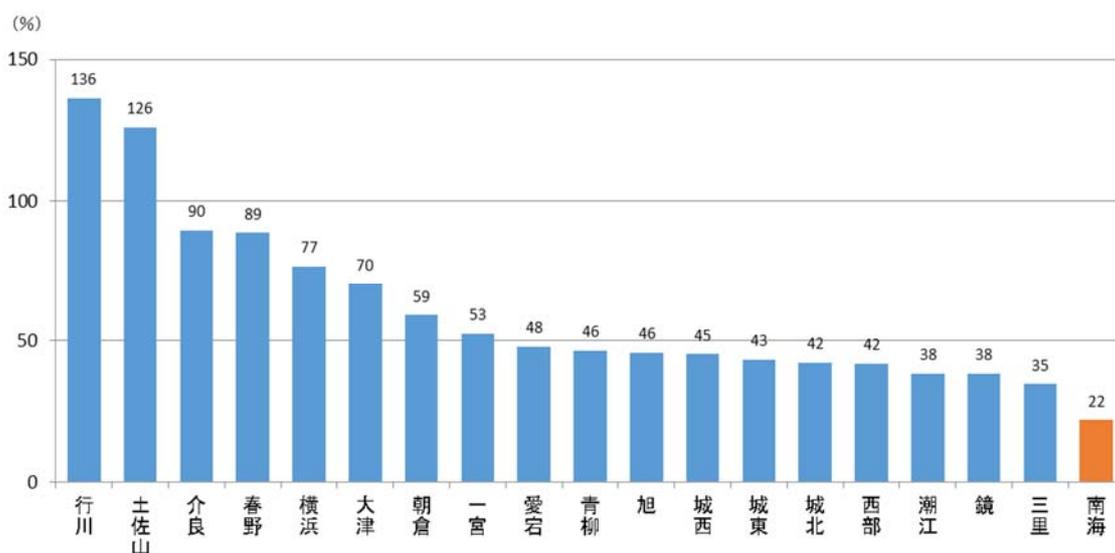
(注1) 横浜新町は1991（平成3）年、横内・介良潮見台は1998（平成10）年の学校創立年を100とした率を表示

(注2) 土佐山・鏡は2005（平成17）年、春野西・春野東は2008（平成20）年の市町村合併年を100とした率を表示

(注3) はりまや橋は旧新堀・旧追手前の児童数を含む

(資料) 文部科学省「学校基本調査」

図表Ⅱ-18 中学校別生徒数（1989（平成元）年=100）の状況

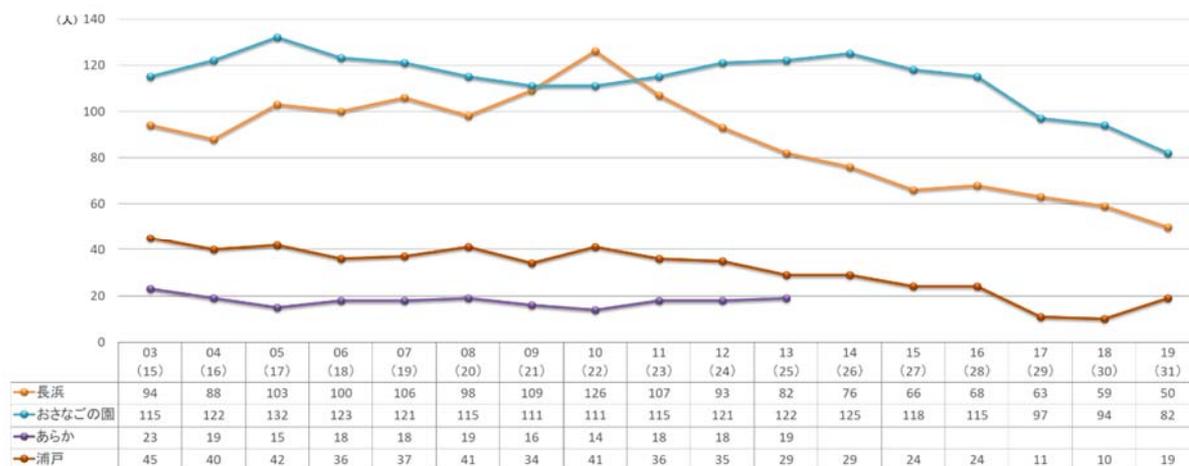


（注1）横浜は1990（平成2）年の学校創立年を100とした率を表示

（注2）土佐山・鏡は2005（平成17）年，春野は2008（平成20）年の市町村合併年を100とした率を表示

（資料）文部科学省「学校基本調査」

図表Ⅱ-19 保育園の園児数の推移



（資料）高知市保育幼稚園課資料

3 経済・産業の動向

(1) 労働力人口・就業者数等の推移

国勢調査に基づく本市の労働力人口及び就業者数の動向をみると、市全体では2000（平成12）年から2015（平成27）年の間に就業者が14,961人減少しています。特に御豊瀬・浦戸両地域では人口減少と高齢化が急速に進行している影響もあり、2000（平成12）年から2015（平成27）年までの就業者の減少率は、御豊瀬地域がマイナス61.7%、浦戸地域がマイナス35.9%と大幅に減少しています。（図表Ⅱ-20）

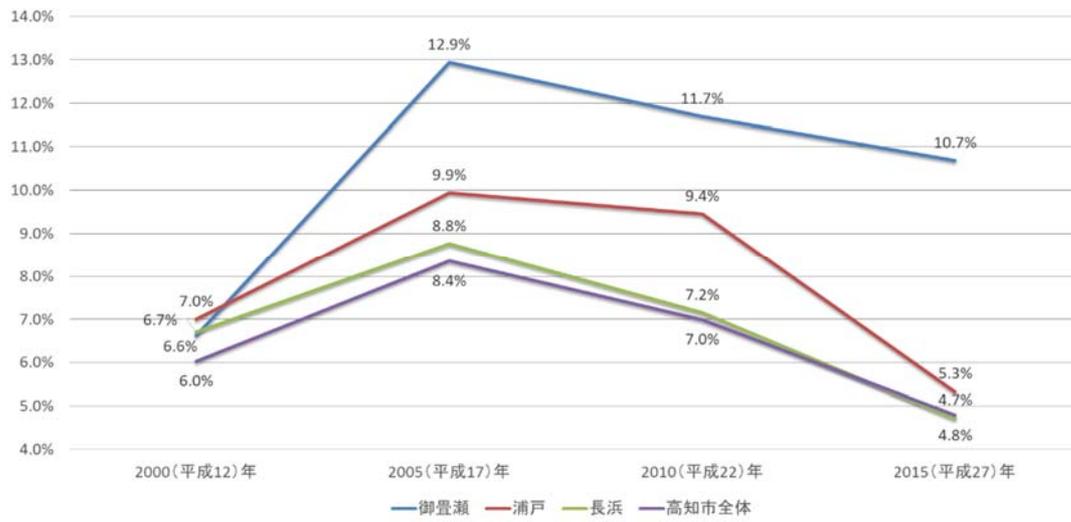
2015（平成27）年における産業別の従業者割合から産業構造をみると（図表Ⅱ-22）、御豊瀬・浦戸地域では長浜地域と比較して漁業の構成比が大きい状況が見られ、漁業を核とした地域の活性化策の検討など、地域の特性を活かした対策が求められています。

図表Ⅱ-20 労働力人口及び就業者数の推移

区分		2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	減少率 (H12→27)
市全体	労働力人口	167,621	165,542	156,826	149,726	-10.7%
	就業者	157,520	151,711	145,864	142,559	-9.5%
	完全失業者	10,101	13,831	10,962	7,167	-29.0%
長浜	労働力人口	13,256	13,038	12,137	11,415	-13.9%
	就業者	12,367	11,896	11,269	10,877	-12.0%
	完全失業者	889	1,142	868	538	-39.5%
御豊瀬	労働力人口	257	201	154	103	-59.9%
	就業者	240	175	136	92	-61.7%
	完全失業者	17	26	18	11	-35.3%
浦戸	労働力人口	686	614	508	432	-37.0%
	就業者	638	553	460	409	-35.9%
	完全失業者	48	61	48	23	-52.1%

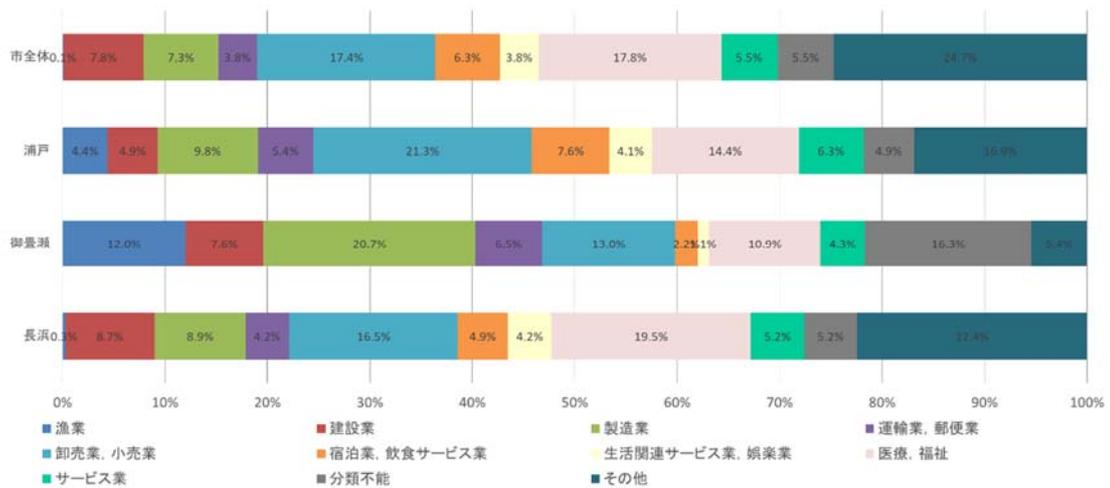
（資料）総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-21 労働力人口に占める完全失業者の割合の推移



(資料) 総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-22 産業(大分類)別15歳以上就業者割合(2015(平成27)年)



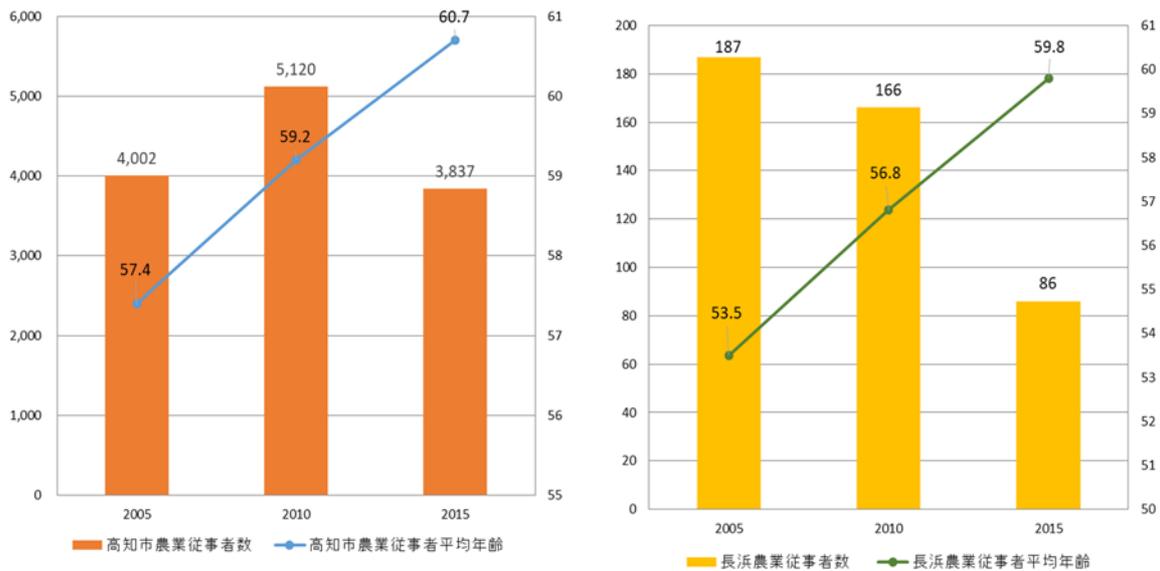
(資料) 総務省「国勢調査」

(2) 農業

高知県の基幹産業である農業の状況をみると、市全体の農業従事者数は2005（平成17）年から2010（平成22）年にかけていったん増加したものの、2015（平成27）年には再び減少に転じています。一方で、従事者の平均年齢は一貫して上昇を続けています。

長浜地域の農業従事者は、2005（平成17）年から2015（平成27）年にかけて半数以下まで減少しており、従事者の平均年齢は市全体と同様に上昇しています。長浜地域で盛んに栽培されているユリ等の特色ある産品をPRしながら新規就農者の参入を促し、次代の農業を担う従事者の確保に取り組んでいく必要があります。

図表Ⅱ-23 農業従事者数と平均年齢の推移（高知市・長浜）



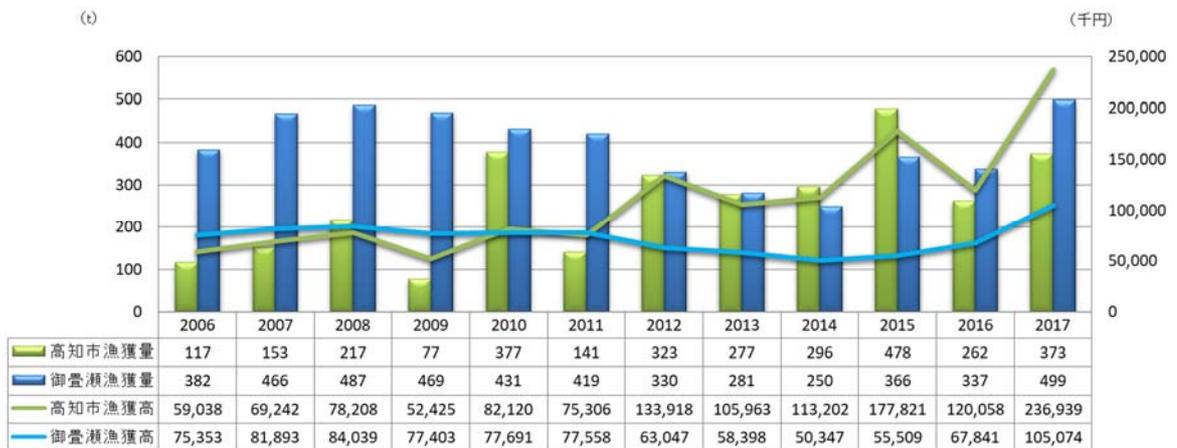
（資料）農林水産省「農林業センサス」

(3) 水産業

御豊瀬・浦戸地域において従事者が多い水産業の状況を見ると、高知市漁業地区における漁獲量・漁獲高は2011（平成23）年以降上昇傾向にあり、御豊瀬漁協地区においても2014（平成26）年以降上昇しており、漁獲量・漁獲高の減少傾向に歯止めがかかっています。一方で、漁業経営体の減少傾向が著しく、地域の水産業を維持・継続していくための経営体の確保・支援対策が強く求められる状況となっています。（図表Ⅱ-25）

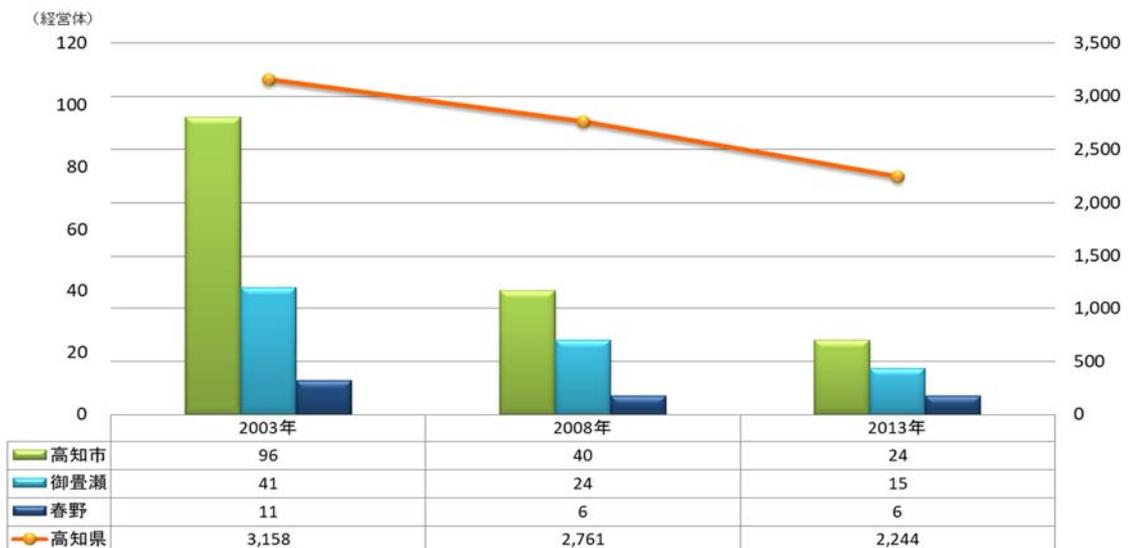
御豊瀬・浦戸地域で漁獲量の多い沖ウルメやメヒカリなどの魚を活用した商品を積極的にPRするほか、海の恵みを活かした釣りなどにより、にぎわいを創出するなどの方策を検討するとともに、漁業従事者確保につなげる取組が望まれます。

図表Ⅱ-24 漁獲量・漁獲高の推移



（資料）高知市農林水産課資料

図表Ⅱ-25 漁業経営体数の推移



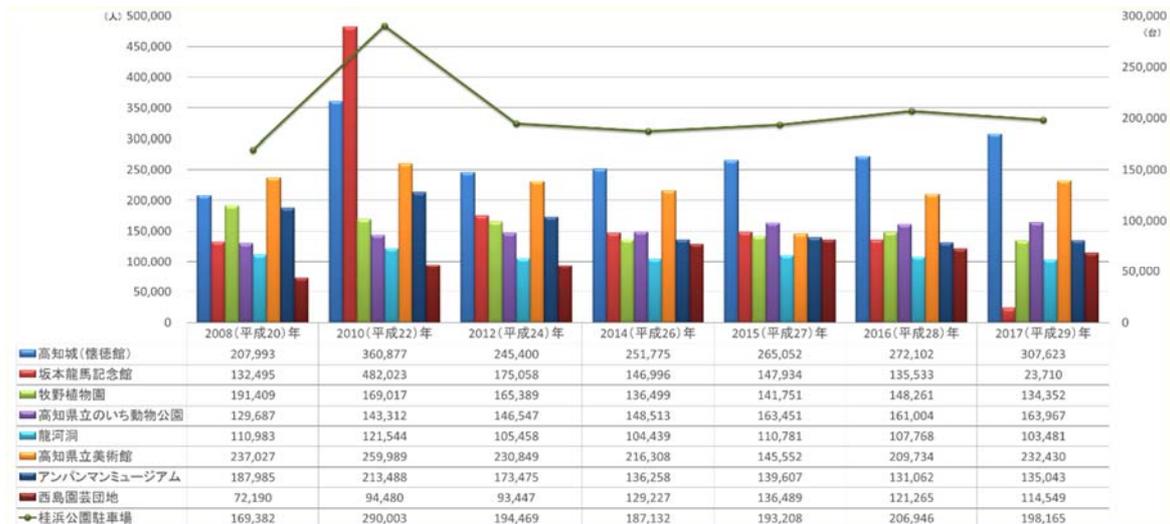
（資料）農林水産省「漁業センサス」

(4) 観光

本市の観光客は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」等の効果により、2010（平成22）年に大きく増加し、主要観光施設の利用状況もそれまでを大きく上回りました。浦戸地域に立地する「坂本龍馬記念館」も多くの集客があったほか、桂浜公園駐車場の利用台数も大幅に増加しています。しかし、それ以降は伸び悩んでおり、桂浜エリアが持つ観光客を呼び込む潜在的な魅力を十分に活かし、長浜・御豊瀬・浦戸地域の偉人や歴史的な観光資源を活用して観光客を呼び込み、にぎわいや経済的なメリットを地域に波及させるための手立てを検討することが必要です。

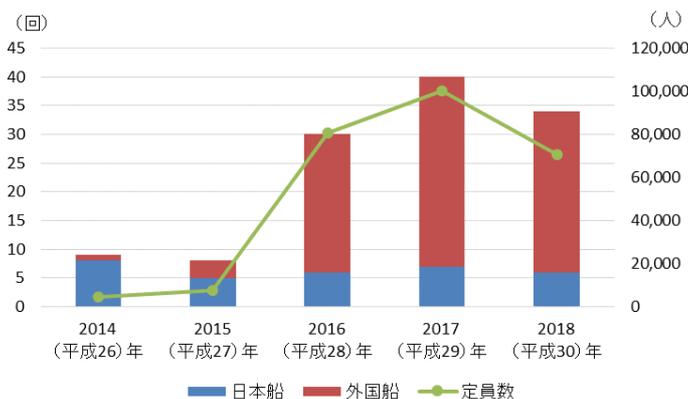
また近年、世界的なクルーズ需要の増加を背景として、高知新港における外国客船の寄港回数が大幅に増加しています。高知新港から近距離である長浜・御豊瀬・浦戸地域においても外国人観光客の受入態勢を整え、日本人のみならず外国人に対しても積極的にPRを行うことで、経済効果の発揮や知名度の向上を図っていくことが可能となります。

図表Ⅱ-26 主要観光施設等利用状況の推移



(資料) 高知県県外観光客入込・動態調査報告書, 高知市統計書

図表Ⅱ-27 高知新港における客船寄港回数等の推移



(資料) 高知県 県外観光客入込・動態調査報告書, 高知市商工振興課

4 その他

(1) 空き家の状況

2015（平成27）年度に実施した本市全域における空き家等の実態調査によると、市全体の空き家率が5.0%であることに對し、御豊瀨地域は20.6%、浦戸地域は18.8%となっており、空き家率が非常に高くなっている状況です。適切な管理が行われていない空き家の増加は、防災、衛生、景観等の面から地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあるため、本市では2017（平成29）年に「高知市空き家等対策計画」を策定して対策に取り組んでいます。

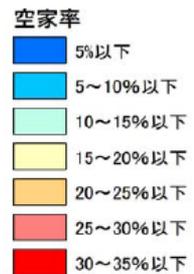
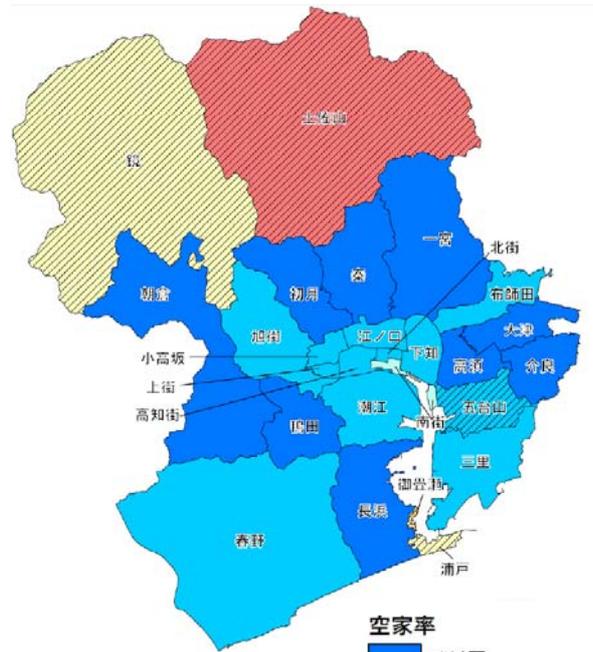
御豊瀨・浦戸両地域は高齢化率が非常に高く、今後ますます管理の行き届かない空き家が増えてくることも想定されることから、地域全体で生活環境を維持するための対策を取ることが必要です。

図表Ⅱ-28 大街別空き家及び高齢化率の状況

表1-3 大街別の建築物数、空家数、空家率、高齢化率

地区名	大街名	建物数	空家数	空家率	高齢化率
旧高知市	上街	1,361	84	6.2%	33.7%
	高知街	2,156	114	5.3%	31.5%
	南街	1,210	123	10.2%	31.6%
	北街	1,169	96	8.2%	30.7%
	下知	4,403	243	5.5%	20.8%
	江の口	6,188	350	5.7%	29.9%
	小高坂	3,678	289	7.9%	30.2%
	旭街	13,000	702	5.4%	29.9%
	潮江	9,556	529	5.5%	28.5%
	三里	4,549	300	6.6%	33.4%
	五台山	1,046	89	8.5%	38.2%
	高須	3,685	163	4.4%	21.1%
	布師田	542	29	5.4%	31.3%
	一宮	8,480	306	3.6%	25.0%
	葵	6,399	288	4.5%	27.1%
	初月	5,630	187	3.3%	23.1%
	朝倉	9,750	319	3.3%	27.2%
	朝田	8,646	284	3.3%	27.2%
	長浜	9,598	357	3.7%	29.9%
	御豊瀨	253	52	20.6%	59.2%
浦戸	474	89	18.8%	47.1%	
大津	3,470	106	3.1%	24.0%	
介良	4,564	98	2.1%	24.0%	
小計		109,807	5,197	4.7%	27.5%
鏡地区		535	103	19.3%	41.3%
土佐山地区		404	104	25.7%	39.6%
春野地区		5,812	460	7.9%	33.6%
合計		116,558	5,864	5.0%	27.9%

空家率、高齢化率上位5位
※高齢化率は、平成28年10月1日現在住民基本台帳



(資料) 高知市空き家等対策計画，住民基本台帳

(2) 地域の主な資源・施設等の状況

長浜・御豊瀬・浦戸地域内にあるおもな資源、施設は以下のとおりです。これらの資源、施設を有効活用するとともに、空き家等の利活用などにより、地域の活性化につなげることが期待できます。

図表Ⅱ-29 長浜・御豊瀬・浦戸地域における主な資源・施設等



長浜	御豊瀬	浦戸
①若宮八幡宮	⑭西法寺	⑳坂本龍馬像
②長宗我部元親公初陣銅像	⑮天満宮	㉑浦戸城址
③長浜保育園	⑯巖島神社	㉒稲荷大明神
④長浜市民会館	⑰深浦神社	㉓受法寺
⑤長浜児童館	⑱笑ヶ浦	㉔宇賀神社
⑥戸の本古戦場	㉒御豊瀬の墓石群	㉕一領具足供養の碑
⑦雪蹊寺	㉓御豊瀬ふれあいセンター	㉖浦戸ふれあいセンター
⑧秦神社	㉔旧御豊瀬小学校	㉗浦戸小学校
⑨長浜ふれあいセンター	㉕泉宮渡船(長浜～種崎)	㉘うらと龍馬保育園
⑩長浜小学校	㉖御豊瀬漁港	㉙坂本龍馬記念館
⑪南海中学校		㉚浦戸漁港
⑫長宗我部元親公墓所		
⑬愛馬の塚		

1 計画の概要**(1) 目的**

長浜・御畳瀬・浦戸地域の人口減少への対応と地域振興による地方創生に向けたまちづくりを、市民と行政の協働のもと、進めていくことを目的とします。

(2) 計画期間

2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間を計画期間とします。

(3) 計画地域

長浜※・御畳瀬・浦戸地域（長浜小学校区・浦戸小学校区）

※瀬戸，横浜，横浜新町，長浜蒔絵台を除く長浜エリア



2 計画の位置付け

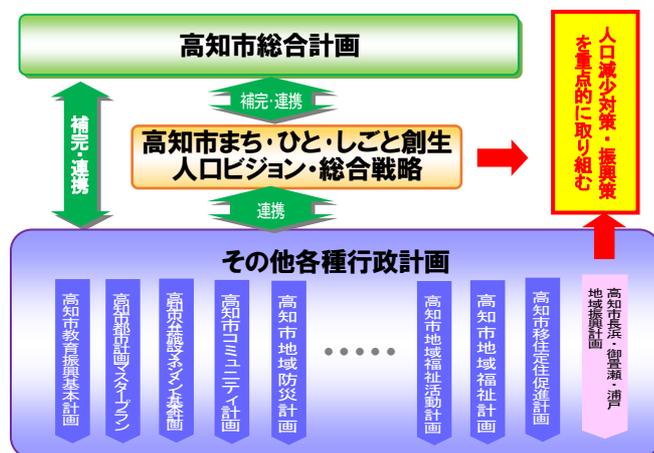
高知市は、2015（平成27）年に策定した「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」により、4つの基本目標をもとに人口減少対策に向けた様々な取組を進めていますが、特に人口減少が著しい長浜・御畳瀬・浦戸地域への人口減少対策、地域振興策が重要であり、総合戦略と本計画の両方から人口減少への対応、地域振興を図ることとします。

また、本計画は、各種行政計画と補完・連携することにより、地域の人口減少への対応・地域振興策を「行政計画」として位置付け、地域住民発意・市民と行政の協働で取り組む地域振興策として計画推進を図ります。

高知市では市民と行政の協働による取組を地域の「コミュニティ計画」等を通して従前から行ってきており、「高知市総合計画-1990-」において、コミュニティ計画を「住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画」として総合計画と相互に補完・連携するものとしております。

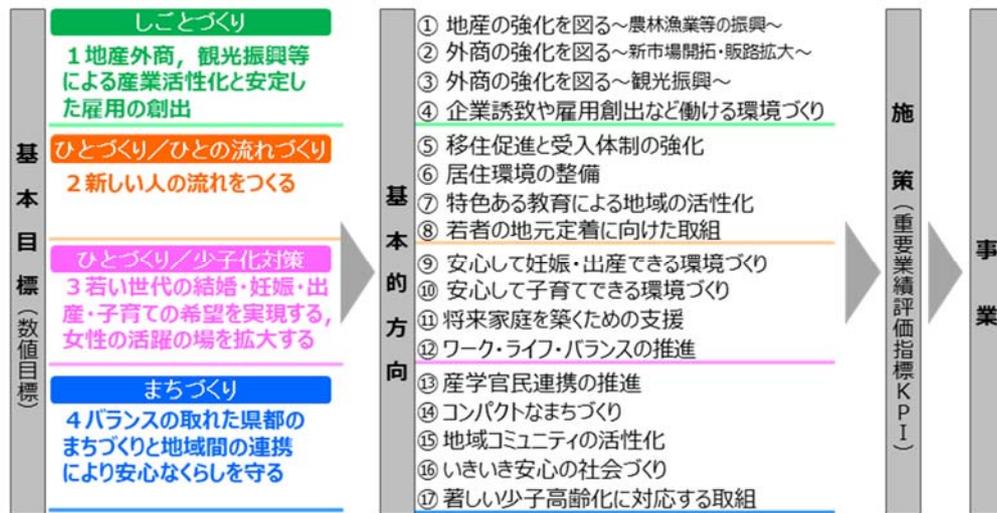
長浜、御畳瀬、浦戸地域においても1997（平成9）年から1999（平成11）年にかけて、それぞれの地域でコミュニティ計画が策定され、地域住民主体で様々なコミュニティ活動が実践されてきました。しかし、当時の計画から相当の年数が経過しており、計画掲載事業も一定整理されるとともに、社会状況の変化や住民ニーズやライフスタイルも多様化している状況も踏まえ、2010（平成22）年度から地域コミュニティの再構築事業として、地域内の各種団体等の連携による地域住民主体での仕組みづくり、取組が進められています。

本計画により、地域だけでは実施困難な一定のソフト・ハード事業を行政として積極的に実施しながら、地域振興策を市民と行政の協働により進めることで、地域コミュニティの維持・発展につなげ、各種行政計画との補完・連携による地域力の向上を図り、地域住民が主体となって活躍できるまちの実現をめざします。



＜「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係＞

本計画は、第2期「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間）における「基本目標4 バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により安心な暮らしを守る」のうち、基本的方向として定める「著しい少子高齢化に対応する取組」として位置付け、人口減少対策・地域振興策の取組を進めます。



＜「高知市総合計画」との関係＞

本計画は、現在の高知市総合計画「2011 高知市総合計画基本計画（2016 基本計画改訂版）」に定める施策・政策（基本目標）に沿って、本計画で定める6つの方策をそれぞれ取り組むこととします。なお、今後策定される「2011 高知市総合計画後期基本計画」（2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間）においても、施策・政策（基本目標）は原則継承されることとなっており、本計画も後期基本計画の施策・政策（基本目標）に沿って、計画推進を図ることとします。

まちづくりの理念 将来の都市像		自然と人の共生 人と人の共生 自然と人との共生 森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知															
施策の大綱		1 共生の環			2 安心の環			3 育みの環		4 地産の環			5 まちの環		6 自立の環		
政策（基本目標）		と豊かな自然に親しみ、自然共生するまち	承継されるまち	にやさしいまち	地域の資源や再生可能な環境を	女が共に輝けるまち	多様な主体が連携するまち	住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるまち	健康で安心して暮らせるまち	子どもと学ばせ、成長・自立を支えるまち	躍進できるまち	まちの豊かな資源を活かす	いきわいどが創出されるまち	便利で快適に暮らせるまち	災害に強く、安全に暮らせるまち	多様な交流や、新たな人との	
方針1	方針2	主な方策															
●	●	○	○				○				○					○	
●	●										○	○				○	
●	●						○						○			○	
●	●						○	○		○	○		○			○	
●	●		○				○				○					○	
●	●						○			○	○					○	

3 計画の体系

(1) 長浜・御豊瀬・浦戸地域の将来像

将来像を決めるにあたり、長浜・御豊瀬・浦戸地域活性化協議会のメンバーを中心にそれぞれの地域でグループワークを行い、「地域の良いところ」、「地域の良くないところ」、「将来地域にこうなってほしくないところ」、「地域で将来こうなってほしいところ」という4項目について考え、地域の強み弱みを共有しました。

3地域それぞれの思いを地域の将来像としてまとめ、「長浜・御豊瀬・浦戸地域活性化協議会」で共有するとともに、歴史文化への思い、地域住民のつながりのイメージなど共通する項目について、全体の将来像としてまとめました。

将来像

歴史や風土を活かし、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまち

地域別将来像

〔長浜地域〕	歴史と文化が人をつなぐまち長浜
〔御豊瀬地域〕	愛され住みたい、潮香るまち御豊瀬
〔浦戸地域〕	波の音と笑い声が聞こえるまち浦戸

(2) 長浜・御豊瀬・浦戸地域の基本方針および方策

地域との協議において、出た意見を分野別に整理すると、「産業・観光」、「歴史・文化」、「教育・福祉・移住」といった項目に分けることができました。

その分野別項目をもとに、地域が将来像に向かって取り組むまちづくりの基本方針として定め、それぞれの基本方針に沿った取組を展開します。

また、基本方針をもとに取組を進めるための主な方策として、地域からの意見を6つの方策に整理し、それぞれの方策ごとに具体的な事業に取り組むこととします。

基本方針

基本方針 1	地域の魅力を活かしたにぎわいあふれるまちづくり
基本方針 2	歴史と文化を守り未来につなぐまちづくり
基本方針 3	子どもの笑顔あふれる誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

計画の体系図

将来像	歴史や風土を活かし、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまち 地区別将来像 (長 浜) 歴史と文化が人をつなぐまち長浜 (御豊瀬) 愛され住みたい、潮香るまち御豊瀬 (浦 戸) 波の音と笑い声が聞こえるまち浦戸			
基本方針	基本方針 1 地域の魅力を活かしたにぎわいあふれるまちづくり 基本方針 2 歴史と文化を守り未来につなぐまちづくり 基本方針 3 子どもの笑顔あふれる誰もがいきいきと暮らせるまちづくり			
基本方針 1	基本方針 2	基本方針 3	主な方策	取組事業
●	●	●	1 地域の「賑」わいあふれる企画づくり	1-1 「まち・歴史・文化」を活かしたイベント 1-2 「自然」を活かしたイベント
●	●	●	2 地域の「食」を活かした産業の活性化	2-1 農水産物等を活かした食づくり
●	●	●	3 地域を「巡」り魅力を知ってもらう	3-1 ウェルカムアート・案内板・地域ガイドの作成 3-2 気軽に周遊できるしくみづくり 3-3 ランニング・ウォーキングの推進 3-4 「お遍路さん」の支援
●	●	●	4 にぎわいと交流の「場」づくり	4-1 拠点を活かしたにぎわいづくり 4-2 旧御豊瀬小学校の利活用 4-3 多世代交流,スポーツに親しむ場づくり 4-4 空き家の活用
●	●	●	5 歴史と文化を「伝」え、次代につなぐ	5-1 伝統行事や祭りの継承・発展 5-2 歴史・文化財の保護の推進
●	●	●	6 地域の愛着を「育」むひとづくり	6-1 地域のファンづくり 6-2 保小中高との連携

4 取組イメージ

それぞれの事業を進めるうえで、「いきなり地域に住んでもらうのはハードルが高く、まずは地域を知ってもらうことや地域を訪れる人を増やす取組を進めてはどうか」という地域からの意見も踏まえ、本計画では交流人口の考え方を長浜、御畳瀬、浦戸地域を訪れる人だけでなく、地域住民同士の交流や地域に関心を持ってもらうことも含め、幅広く捉え、交流人口増加を図ることを指標に設定し、目標達成に向けて取り組むとともに、「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に登載の2060（令和42）年の高知市の目標人口28万人の維持に向けて、移住施策や空き家対策などの定住人口増につながる取組も進めていきます。

「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」 2060年の高知市目標人口 280,000人
うち3地域目標人口：7,900人（長浜：7,240人、御畳瀬：100人、浦戸560人）

交流人口増に向けた目標設定

<イベント、地域行事の参加者数>

既存イベント、行事参加者数 6,850人 → 【目標値（R6）】7,200人

（参考）どろんこ祭り250人、長宗我部祭り4,000人、こじゃんと楽市1,200人、みませ祭り600人、浦戸夏祭り800人

<情報発信>

SNS活用による積極的な情報発信、新たな広報手段の確立 → 【目標値（R6）】新規広報媒体活用数4種類

（参考）インターネットホームページ、Facebook、Twitterなどの新規開設、広報紙の作成などによる積極的な情報発信

<公共交通>

路線バス（桂浜線）利用者数 87,098人（H30.10～R1.9） → 【目標値（R6）】91,000人

MY遊バス利用者数 59,682人（H28～H30 3か年平均） → 【目標値（R6）】62,400人

6つの方策は、それぞれキーワードを「賑」、「食」、「巡」、「場」、「伝」、「育」として設定し、各事業に取り組みます。

賑 地域にある歴史・文化、伝統、自然などの資源を活用し、イベントの開催などPRを行い、地域のにぎわいを創出します。

食 魚、てんぷら、さつまいもなどの地元食材などの活用により、地域産業の掘り起こし、活性化を図ります。

巡 地域を周遊してもらうことで、魅力を再発見し、地域を訪れる人の増加につなげます。

場 地域住民が集い、交流が図れる場として、また、地域の観光資源として、観光客が訪れ、にぎわいと交流が生まれる場づくりを進めます。

伝 特色ある伝統行事やお祭りを子どもや若者に伝え、次世代に受け継ぐとともに、名所や史跡など地域の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につなげます。

育 地域と地元保育園、小中学校、高校、大学等の連携により、地域に愛着を持った将来を担う人材を育成するとともに、若者目線による地域のファンを増やします。

5 取組概要と主な内容

基本方針1 地域の魅力を活かしたにぎわいあふれるまちづくり

基本方針2 歴史と文化を守り未来につなぐまちづくり

基本方針3 子どもの笑顔あふれる誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

方策1 地域の「賑」わいあふれる企画づくり

地域にある歴史・文化、伝統、自然などの資源を活用し、イベントの開催などPRを行い、地域のにぎわいを創出します。

〔現状と課題〕

- 太平洋・浦戸湾に接した自然豊かな立地。
- 昔ながらの漁村風景が残る港町。
- 浦戸湾は「高知の江戸前」。豊かな魚資源、歴史・文化がある。
- 地域の持つ強みに対する情報発信が少ない。
- 少子高齢化が進み、新たな取組（海からのアプローチなど）を行うには若い人の力が必要。



〔取組事業〕

1-1 「まち・歴史・文化」を活かしたイベント

地域の資源や歴史、文化を活用し、これまでの地域イベントに磨きをかけるとともに、ターゲットを絞った新たなイベントの実施など地域の魅力を様々な形で発信し、地域を盛り上げます。

＜地域等からのアイデア＞

- 地域内外の人が交流できるイベント
- 観光スポットでのスタンプラリー
（地域の特産品プレゼント）
- 地域の魅力発信（メディア発信、県外PR）
- 歴史資源を活用したイベント



1-2 「自然」を活かしたイベント

海を中心とした自然の恵みを活かし、地域固有の特色を最大限に発揮し、釣りのスポット化をはじめ、遊覧船等の活用による海からのアクセスの促進により、観光拠点を海でつなぎ、地域を訪れる人の増加と様々なイベントの開催による通年で観光客が楽しめる地域として新しい流れを作ります。

また、地元特産品を活用した料理をイベントでつなげ、地域産業の活性化にもつなげます。

＜地域等からのアイデア＞

- ・「釣り」を活用した取組
（防波堤等のスポット、釣り大会、釣り具レンタル（体験））
- ・遊覧船の活用（市内、桂浜の海からのアクセス）
- ・新たな滞在型イベント（写真撮りフェス（写真コンテスト））
- ・マリンレジャーの推進（海、浜）
- ・イートイン・プロジェクト（船と徒歩を組み合わせた食べ歩き）



〔それぞれの役割〕

【地域】：地元・関係団体や企業との調整，イベント企画，進捗管理（地域推進体制構築）

【行政】：各種行政手続きの支援，補助制度活用支援，漁船の活用検討

【地域・行政】：ホームページ，SNS を活用した積極的な情報発信，事業推進に向けた協議（実施場所・内容の確認，調整）

事業名	期間	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)
1-1 「まち・歴史・文化」を活かしたイベント	中期 (5年以内)	イベント企画・実施				
1-2 「自然」を活かしたイベント	短期 (2年以内)	中長期イベント企画・実施				
	中期 (5年以内)	中長期イベント企画・実施				

方策2 地域の「食」を活かした産業の活性化

魚、てんぷら、さつまいもなどの地元食材などの活用により、地域産業の掘り起こし、活性化を図ります。

〔現状と課題〕

- 地域内に御豊瀬漁港・浦戸漁港の2港を有するが、操業する船の減少、担い手がいない。
- かつては砂地を利用したさつまいも・スイカ等の栽培が盛んであった。
- 干物やてんぷらなど地域食材を活かした様々な取組の展開ができる。
- 特産品を地元で販売・購入できる場（直売所等）が少ない。



〔取組事業〕

2-1 農水産物等を活かした食づくり

地域には自然の恵みを活かした農水産物等が豊富です。これらの地場産品の「ブランド化」や新たな商品開発に取り組むとともに、豊かな地域資源を活用し新たな付加価値を生み出す6次産業化の推進に取り組めます。また、長浜地域ではユリの栽培も盛んで、こうした「食」をはじめとする特色ある地域産業の新たな市場開拓など販路拡大の推進を図ります。

地域の魅力的な「食」を積極的に情報発信し、地域の新たな観光資源として観光客の増加につなげることで、地域の産業が活性化し、地域の雇用、農業、漁業の担い手育成にもつなげます。



<地域等からのアイデア>

- 農水産物の掘り起こし，ブランド化
(サツマイモ(砂地栽培)，ショウガ，スイカなど)
- 地場産品を活用した新商品開発
(ドロメ，メヒカリ，塩クリームソーダ，かまぼこ，沖ウルメ(寿司)，ヒメイチ(寿司)など)
- 地場産品の新たな市場拡大，販路拡大の推進
(アグリコレット，まるごとにつぼん等への商品提案，企業との包括連携の推進)
- 6次産業化の推進(セミナー開催など)

【それぞれの役割】

【地域】：地元・関係団体，企業との調整，企業等との研究開発

【行政】：各種行政手続きの支援，補助制度活用支援，アドバイザー活用支援，市場開拓・販路拡大推進

【地域・行政】：ホームページ，SNSを活用した積極的な情報発信，事業推進に向けた協議(新商品開発支援，活用検討)

事業名	期間	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)
2-1 農水産物等を活かした食づくり	中期 (5年以内)	特産品の開発， 市場開拓，販路拡大調整	活用方法検討	→ 実施		



方策3 地域を「巡」り魅力を知ってもらう

地域を周遊してもらうことで、魅力を再発見し、地域を訪れる人の増加につなげます。

〔現状と課題〕

- 長宗我部関連の史跡や雪蹊寺等の観光資源等が点在しているが、有機的なつながりがない。
- 県を代表する景勝地桂浜公園を有するが、桂浜公園利用者が周辺地域を訪れることが少ない。
- 観光資源等の個々のサインは一定整備されているが、それらを網羅した総合的なサインの整備が不十分である。
- 公共交通機関が少なく、地域内を周遊する仕組みがない。



〔取組事業〕

3-1 ウェルカムアート・案内板・地域ガイドの作成

地域の見どころや史跡等の地域資源を案内板やガイドブック等によりPRし、周遊してもらうことで地域の魅力を感じてもらおうよう取り組みます。また、デザイナーや地元の子どもたちによる地域内の堤防、空き家などにペイントするなど観光資源化し、それぞれの地域を訪れる人を歓迎し、また来たいと思われるような継続的な訪問につなげます。

＜地域等からのアイデア＞

- ・地域巡りガイドブック（見どころ箇所掲載）の作成
- ・案内板（イラストや由来等の掲載）の設置（多言語対応）
- ・トンネルアート、堤防アート、空き家ペイント



3-2 気軽に周遊できるしくみづくり

自転車など気軽に地域を周遊できる手段を構築し、地域を散策してもらう取組を進めます。また、そのためのコース設定や、環境整備も行い、訪れる人が地域を楽しみながら周遊でき、滞在時間の延長につながる環境づくりに取り組みます。

＜地域等からのアイデア＞

- サイクリングコースの設定，サイクルポートの整備
- トックトックの活用の検討，環境整備
- コースマップの作成



3-3 ランニング・ウォーキングの推進

地域に訪れた人が、色々な地域の観光資源等を楽しみながらまち歩きができるよう、環境整備に取り組みます。また、年々参加者が増加し、にぎわいを見せる「高知龍馬マラソン」における太平洋を望む絶景コースに位置する本地域として、積極的にPRに取り組むとともに、ランニング・ウォーキングのコースの充実を図り、地域に訪れる人の増加につなげます。

＜地域等からのアイデア＞

- ランニング・ウォーキングコースの設定，まち歩きの実施
- コースマップの作成
- 休憩所の整備（情報コーナーなど情報発信拠点）

3-4 「お遍路さん」の支援

長浜は四国霊場八十八カ所の第三十三番札所として「雪蹊寺」があり、お遍路さんも多く訪れます。お遍路さんを温かく迎えるとともに、遍路道以外にも周遊できるよう環境整備を行い、地域の活性化につなげます。

＜地域等からのアイデア＞

- お遍路宿（休憩所）の整備
（情報コーナーなど情報発信拠点）
- 遍路道，周辺の環境整備



〔それぞれの役割〕

【地域】：地元・関係団体との調整，デザイン，アイデア出し，進捗管理（地域推進体制構築）

【行政】：各種行政手続きの支援，補助制度活用支援

【地域・行政】：ホームページ，SNS を活用した積極的な情報発信，事業推進に向けた協議（まちあるき，実施場所の確認，調整）

事業名	期間	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)
3-1 ウェルカムアート・案内板・地域ガイドの作成	短期 (2年以内)	場所，内容検討 → 実施		場所，内容検討 → 実施		
3-2 気軽に周遊できるしくみづくり	中期 (5年以内)	実施内容検討 → 実施				
3-3 ランニング・ウォーキングの推進	短期 (2年以内)	場所，内容検討 → 実施		場所，内容検討 → 実施		
3-4 「お遍路さん」の支援	中期 (5年以内)	実施内容検討 → 実施				



方策4 にぎわいと交流の「場」づくり

地域住民が集い、交流が図れる場として、また、地域の観光資源として、観光客が訪れ、にぎわいと交流が生まれる場づくりを進めます。

〔現状と課題〕

- 観光客が長時間滞在できる場所（仕組み）がない。
- 旧御豊瀬小学校等の活用されていない公有財産がある。
- 人口減少に伴い、空き家が増加している。
- 昔ながらの近所付き合いがなくなり、助け合いが少なくなっている。
- 地域住民同士の交流の拠点が少なく、地域が一体となって誘客する取組が必要。



〔取組事業〕

4-1 拠点を活かしたにぎわいづくり

太平洋を臨む花海道など地域の景観を活用し、訪れる観光客の新たな観光資源として、また、沿岸部の住民の災害時の避難場所として長浜地域に拠点整備を検討します。拠点では地域の特産品も販売することで、地域経済活性化や働く場所の確保につなげます。

浦戸地域でも気軽に交流できる地域拠点施設について検討し、長浜・御豊瀬・浦戸地域それぞれの各団体のハブ的役割を担う地域情報の発信拠点として、地域住民主体による運営体制の構築、長浜・御豊瀬・浦戸地域全体の活性化につながる「場」づくりを地域と行政一体で取り組んでいきます。

＜地域等からのアイデア＞

- ・地域活動拠点の検討
（長浜地域：避難所要素，直販所要素，観光客用トイレ，駐車場，イベントスペース 浦戸地域：小規模交流拠点）
- ・花海道での出店の検討（各地域で出店調整機能）

4-2 旧御豊瀬小学校の利活用

平成24年に閉校した旧御豊瀬小学校を御豊瀬地域の活性化に向けた拠点として利活用することで、地域のにぎわいを創出します。

＜地域等からのアイデア＞

- ・ 公有財産利活用の検討
(民間企業への貸出し、地域住民交流拠点、コミュニティカフェ、グラウンドでのスポーツ交流の実施など)

4-3 多世代交流, スポーツに親しむ場づくり

子どもが安心して元気で遊べる場づくりや、保護者が楽しく子育てできる環境を整備するとともに、「いきいき百歳体操」など高齢者が地域で生きがいを持って楽しく過ごすことができる事業や交流の場づくりを推進し、多世代にわたり、地域でいきいきと暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

また、スポーツ大会の開催、参加を通して、スポーツによる交流を深めるとともに、地域住民の健康増進と生きがいづくりにもつなげます。

＜地域等からのアイデア＞

- ・ 子どもが遊べる環境整備（遊具の整備、ボール遊びができる場など）
- ・ 地域の社会資源活用によるいきいき百歳体操、コミュニティカフェの実施
- ・ 地域スポーツ大会の実施、交流の拡大

4-4 空き家の活用

地域内の空き家などの資源を活用し、子どもから高齢者まで多世代が集える交流の場(サロン、カフェ)や音楽ライブなど住民の居場所づくりを増やすとともに、移住者も安心して暮らすことができるよう環境整備を行い、住民同士の交流を深め、地域の賑わいと活力を創出します。

また、お遍路さんの宿や移住希望者の滞在施設として空き家を活用し、地域の周遊につなげ、長く滞在してもらえるよう取り組みます。

＜地域等からのアイデア＞

- ・ 空き家などの資源調査、持ち主と住民のニーズのマッチング
- ・ 空き家の改修支援
- ・ サロン、コミュニティカフェなどの地域住民交流拠点として活用
- ・ お遍路宿の整備、移住者向けの滞在施設として活用

〔それぞれの役割〕

【地域】：地元・関係団体や企業との調整，イベント企画，進捗管理（地域推進体制構築）

【行政】：各種行政手続きの支援，補助制度活用支援，拠点整備検討

【地域・行政】：ホームページ，SNS を活用した積極的な情報発信，事業推進に向けた協議（実施場所・内容の確認，運営体制検討）

事業名	期間	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)
4-1 拠点を活かしたにぎわいづくり	中期 (5年以内) 長期 (5年以上)	実施方針検討				
4-2 旧御豊瀬小学校の利活用	中期 (5年以内)	活用方針検討	→ 実施調整			
4-3 多世代交流，スポーツに親しむ場づくり	中期 (5年以内)	場所・内容検討	→ 実施	場所・内容検討	→ 実施	
4-4 空き家の活用	中期 (5年以内)	場所・内容検討	→ 実施			



方策5 歴史と文化を「伝」え、次代につなぐ

特色ある伝統行事やお祭りを子どもや若者に伝え、次世代に受け継ぐとともに、名所や史跡など地域の魅力を再認識し、郷土愛の醸成につなげます。

〔現状と課題〕

- 土佐の三大奇祭の一つである「どろんこ祭り」がある。
- 伝統行事への参加が減少し、規模が縮小している。
- 高齢化や人間関係の希薄化により、担い手が不足している。
- 地域内に史跡や指定文化財も多く存在するが、観光資源としての一体的な活用につながない。



〔取組事業〕

5-1 伝統行事や祭りの継承・発展

長浜・御豊瀬・浦戸地域は歴史的な趣のある地域で、長宗我部祭りやどろんこ祭りなど、特色のある伝統行事や祭りが多く受け継がれています。しかし、人口減少や高齢化に伴い、伝統行事や祭りの担い手不足により運営が困難になってきています。伝統行事や祭りへの参加を促し、地域の特色のある行事として、にぎわいにつなげるとともに、次代の子どもたちに体験・学習を通して本来の意味や目的を伝え、将来にわたって受け継がれ、地域の郷土愛の醸成につなげます。

＜地域等からのアイデア＞

・地域の祭りの継承・発展

（長宗我部祭り、どろんこ祭り、みませ祭り、天満宮の祭りなど）

地域の観光資源として、観光客誘致につなげる取組、若者向けイベントの企画、子どもの地域学習として行事への参加

5-2 歴史・文化財の保護の推進

長浜・御豊瀬・浦戸地域は神社や寺のほか、名所や史跡が多く存在し、国・県・市の指定文化財にも数多く登録されています。こうした地域の重要な財産を保護し、子どもたちの学習等を通じて、地域の魅力を再認識し、郷土愛の醸成を図るとともに、地域の歴史を次世代に継承していきます。

＜地域等からのアイデア＞

- ・地域の史跡、文化財などの社会資源として整理、PR
（一元把握、冊子・台帳（若宮八幡宮、雪蹊寺、浦戸城址、六体地蔵、天満宮、巖島神社など））

長浜・御豊瀬・浦戸地域指定文化財一覧（2019（令和元）年9月現在）

区分		名称	所有者または所在地	指定年月日
国	重要文化財 彫刻	木造薬師如来坐像及び両脇侍像（3躯） 附木造十二神将立像（10 躯） 木造毘沙門天及脇侍立像（3 躯）	長浜・雪蹊寺 " "	明治 44 年 4 月 17 日 " 明治 44 年 8 月 9 日
	重要文化財 絵画	絹本着色長宗我部元親像	長浜・秦神社	昭和 43 年 4 月 25 日
県	有形文化財	木造 長宗我部元親坐像 長宗我部信親公忠死御供之衆鑑板	長浜・秦神社 "	平成 13 年 3 月 2 日 "
	史跡	長宗我部元親墓	長浜	昭和 28 年 1 月 29 日
市	史跡	浦戸城天守跡附詰東部及び東南部石垣・石塁	浦戸	平成 6 年 3 月 1 日



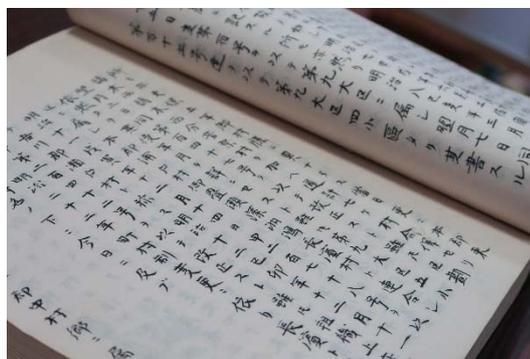
〔それぞれの役割〕

【地域】：地元・関係団体との調整，イベント企画，財産保護活動，進捗管理（地域推進体制構築）

【行政】：各種行政手続きの支援，補助制度活用支援，文化財，歴史に関する情報提供

【地域・行政】：ホームページ，SNS を活用した積極的な情報発信，事業推進に向けた協議（実施内容の確認，調整）

事業名	期間	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	
5-1 伝統行事や祭りの継承・発展	中期 (5年以内)	行事・祭りでの新たな企画検討 → 実施					
5-2 歴史・文化財の保護の推進	中期 (5年以内)	史跡・文化財の整理，PR方法検討 → 実施					



方策6 地域の愛着を「育」むひとづくり

地域と地元保育園、小中学校、高校、大学等の連携により、地域に愛着を持った将来を担う人材を育成するとともに、若者目線による地域のファンを増やします。

〔現状と課題〕

- 地域内の児童・生徒数の減少。
- 地域の歴史や文化を知らない若い世代が増えている。
- 幼少期の自然体験の記憶を残し、将来地域に帰ってくる「ふるさと回帰」の取組が必要。
- 地域住民がみんなで取り組む意識の醸成が必要。



〔取組事業〕

6-1 地域のファンづくり

大学等と連携し、地域に出向いて体験する実習等を通して、地域の魅力を伝え、若者が行き交うまちづくりに取り組むとともに、移住者に対する生活拠点や働く場の整備など受け入れ体制の構築にも取り組み、地域のファンを増やし、住み続けたい人を増やします。

〈地域等からのアイデア〉

- ・大学との連携（現地実習・体験カリキュラムの構築）
- ・学生イベントの誘致
- ・移住者支援
（空き家情報提供、遊休農地の活用検討）
- ・海体験
（漁業と市場体験、干物作り体験など）



6-2 保小中高との連携

地元の保育園や小中学校で地域の強みを活かした活動を展開し、地域の魅力を感じるとともに、愛着を持ってもらうことで、将来、地域に帰ってきたくなるよう意識の醸成を図ります。また、地域外の保育園や小中学校、高校との交流連携により、地域の歴史や文化を学び、地域と一体となった子どもの学習支援の推進に取り組むことで、次世代の地域を担う人材育成につなげていきます。

〈地域等からのアイデア〉

- ・ 特色ある学校づくり（海や自然体験プログラム）
- ・ 地域外の学校等との交流連携（地域行事、海体験への参加）



〔それぞれの役割〕

【地域】：地元・関係団体や企業等の調整，イベント企画，進捗管理（地域推進体制構築）

【行政】：各種行政手続きの支援，補助制度活用支援，保育園，小中学校，高校，大学等の関係機関との調整

【地域・行政】：ホームページ，SNS を活用した積極的な情報発信，事業推進に向けた協議（実施内容の確認，調整）

事業名	期間	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)
6-1 地域のファンづくり	中期 (5年以内)	大学との連携事業検討 → 実施		イベント企画 → 実施		
6-2 保小中高との連携	中期 (5年以内)	連携内容調整 → 実施				

<取組事業一覧>

基本方針 1	基本方針 2	基本方針 3	方策	目標	事業名	地域等からのアイデア
●	●	●	1 地域の「賑」を あふれる企画 づくり	地域にある歴史・文化、伝 統、自然などの資源を活用 し、イベントの開催などPRを 行い、地域のにぎわいを創 出します。	1-1 「まち・歴史・文化」 を活かしたイベント	○地域内外の人の交流イベント ○魅力発信（メディア発信、県外PR） ○歴史資源活用イベント ○スタンブラー
					1-2 「自然」を活かした イベント	○遊覧船の活用（回遊ルートの構築） ○「釣り」の活用（釣り体験・釣り大会） ○マリトレジャー ○滞在型イベント（写真コンテスト） ○イートイン・プロジェクト（船と徒歩による食べ歩き）
●			2 地域の「食」を 活かした産業 の活性化	魚、てんぷら、さつまいもな どの地元食材などの活用に より、地域産業の掘り起こ し、活性化を図ります。	2-1 農水産物等を 活かした食づくり	○農水産物掘り起こし、ブランド化（サツマ、しょうが、スかなど） ○新商品開発（トコメ、メヒカ、塩刈-ムツダ、ヒメイ（寿 司）など） ○市場拡大、販路拡大 ○6次産業化の推進
●	●		3 地域を「巡」り 魅力を知って もらう	地域を周遊してもらうこと で、魅力を再発見し、地 域に訪れる人の増加につな げます。	3-1 ウェルカムアート ・案内板・地域 ガイドの作成	○地域巡りガイド（見どころ）作成 ○案内板の設置 ○堤防・トンネルアート、空き家ペイント
					3-2 気軽に周遊できる しくみづくり	○サイクリングコース、サイクルポートの整備 ○トゥクトゥクの活用 ○コースマップ作成
					3-3 ランニング・ ウォーキング の推進	○ランニング・ウォーキングコースの設定 ○まち歩き、ルート設定・マップ作成 ○休憩所の整備（情報コーナーなど）
					3-4 「お遍路さん」 の支援	○遍路宿（休憩所）整備 ○遍路道整備（周辺環境）
●	●		4 にぎわいと交流 の「場」づくり	地域住民が集い、交流が 図れる場として、また、地 域の観光資源として、観光 客が訪れ、にぎわいと交流 が生まれる場づくりを進めま す。	4-1 拠点を活かした にぎわいづくり	○（長浜）地域活動拠点検討（直販所、避難所、観光客 用トイレ、駐車場、イベント会場など） ○（浦戸）地域交流拠点（小規模） ○花海道への出店検討
					4-2 旧御豊瀬小学校 の利活用	○民間企業等への貸出 ○地域住民交流拠点 ○コミュニティカフェ ○グラウンドでのスポーツ交流
					4-3 多世代交流、 スポーツに親しむ 場づくり	○子どもの遊び場の確保（遊具の整備など） ○高齢者が集える場所づくり（いきいき百歳体操、コミュニティカ フェ） ○スポーツによる交流促進
					4-4 空き家の活用	○空き家など資源調査、マッチング、改修支援 ○地域交流拠点（サロン、宿泊施設（お遍路・下宿）やコミュニ ティカフェ）支援 ○お遍路宿、移住者滞在施設
●	●		5 歴史と文化を 「伝」え、次代 につなぐ	特色ある伝統行事やお祭り を子どもや若者に伝え、次 世代に受け継ぐとともに、名 所や史跡など地域の魅力を 再認識し、郷土愛の醸成 につなげます。	5-1 伝統行事や祭り の継承・発展	○長宗我部祭りの継承・発展（雨戸マンガの活用） ○どろんご祭りの継承・発展（教育機関等と連携した行事。 若者向けイベントの実施） ○みませ祭りの継承・発展（ゲストの招致、干物づくり体験） ○天満宮の祭り（神輿の復活）
					5-2 歴史・文化財の 保護の推進	○史跡、文化財の把握、整理（若宮八幡宮、雪隠寺、浦 戸城址、天満宮、厳島神社など）
●	●		6 地域の愛着を 「育」むひと づくり	地域と地元保育園、小中 学校、高校、大学等の連 携により、地域に愛着を 持った将来を担う人材を育 成するとともに、若者目線 による地域のファンを増や します。	6-1 地域のファン づくり	○大学との連携（地域活動への参加） ○学生イベント ○移住者支援 ○海体験（漁業と市場体験、干物作り体験など）
					6-2 保小中高との 連携	○特色のある学校づくり（海などの自然体験） ○地域外の学校等との連携（地域行事、海体験など）

実施時期		主な役割	計画期間				
			R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, 実施内容, 場所の調整	事業・手法検討 → 実施				
令和2年度 ～令和3年度	短期 (2年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整, 漁船活用検討 【地域・行政】情報発信, 実施内容, 場所の調整	事業・手法検討→実施		事業・手法検討→実施		
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, 研究開発 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, アドバイザー活用支援, 市場開拓, 販路拡大推進 【地域・行政】情報発信, 新商品開発, 活用の検討	特産品開発 事業・手法検討→実施		事業・手法検討→実施		
			市場開拓, 販路拡大 事業・手法検討 → 実施				
令和2年度 ～令和3年度	短期 (2年以内)	【地域】地元等調整, デザイン, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, まち歩き, 実施場所の確認	事業・手法検討→実施		事業・手法検討→実施		
			地域めぐりガイド」検討				
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, コース検討, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, まち歩き, 実施場所の確認	事業・手法検討 → 実施				
令和2年度 ～令和3年度	短期 (2年以内)	【地域】地元等調整, コース検討, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, まち歩き, 実施場所の確認	事業・手法検討→実施		事業・手法検討→実施		
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, コース検討, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, まち歩き, 実施場所の確認	事業・手法検討 → 実施				
令和2年度～	中期 (5年以内) 長期 (5年以上)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整, 拠点整備検討 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	小規模拠点 事業・手法検討 → 実施				
			大規模拠点 事業・手法検討 → 実施				
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整, 拠点整備検討 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	活用方針検討		事業・手法検討 → 実施		
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	事業・手法検討→実施		事業・手法検討→実施		
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	空き家対策		事業・手法検討 → 実施		
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	事業・手法検討 → 実施				
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, 財産保護活動, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整, 文化財・歴史に関する情報提供 【地域・行政】情報発信, 実施内容の調整	事業・手法検討 → 実施				
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	事業・手法検討 → 実施				
令和2年度～	中期 (5年以内)	【地域】地元等調整, イベント企画, 進捗管理 【行政】行政手続支援, 補助制度活用支援, 関係機関調整 【地域・行政】情報発信, 実施場所, 内容の調整	事業・手法検討 → 実施				

1 推進体制

長浜・御畳瀬・浦戸地域の振興は、行政、市民やNPO、企業、観光協会、商工会などの関係機関などが連携し、それぞれの強みを生かしながら一体となって取り組む必要があります。

本計画の推進にあたっては、「高知市総合計画」や「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策や地域振興策を推進するほか、関連する各種行政計画とも整合性を図りながら庁内が一体となって連携を図りながら進めます。

また、市民のニーズや時代の変化等にも柔軟に対応し、緊急度や事業効果、他の事業との優先順位を考慮しながら、5年間の計画期間の中で事業計画を立て、効率的に進めることとします。

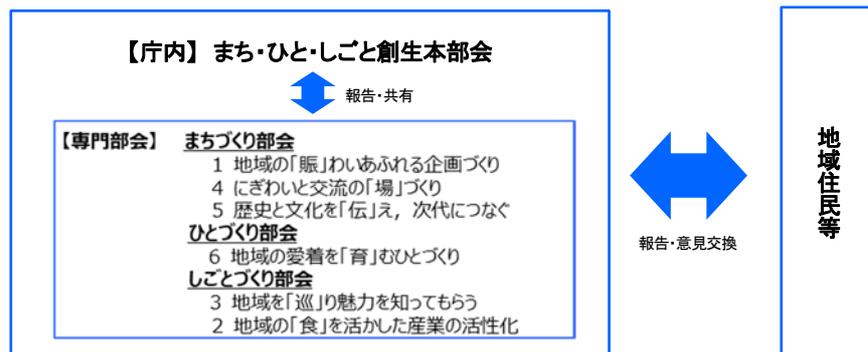
<行政の推進体制>

長浜・御畳瀬・浦戸地域の振興を図るため、庁内でも新たに推進体制の構築を検討します。

また、人口減少をはじめ、地方創生を効果的かつ効率的に推進していくために産官学金労言の様々な分野の委員で構成する外部組織「まち・ひと・しごと創生有識者会議」と、市長を本部長とする庁内組織「高知市まち・ひと・しごと創生本部会」を設置しています。

本計画の推進については、全庁で共有し、一体的に推進するとともに、具体的な事業の実施にあたっては、「まち・ひと・しごと創生本部会」に専門部会を設置し、庁内横断的に連携を図りながら行います。

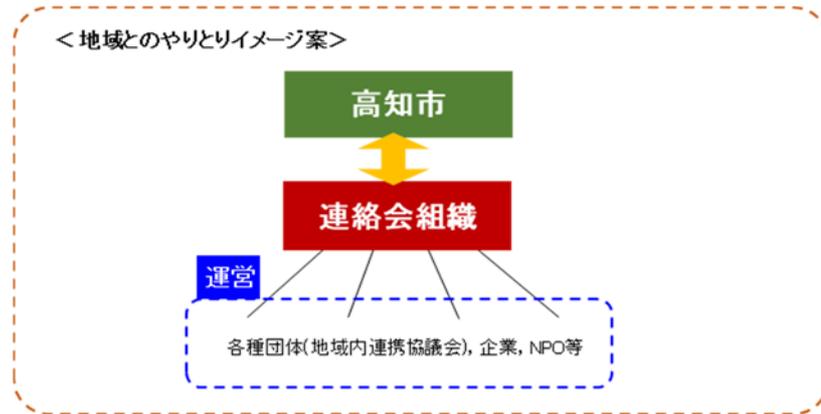
このほか、「地域おこし協力隊」の導入など、地域と密接な連携が図れる体制づくりの検討も進めます。



＜地域の推進体制＞

本計画の推進にあたっては、長浜・御豊瀬・浦戸地域住民の主体性を尊重し、地域振興を進めることが重要です。

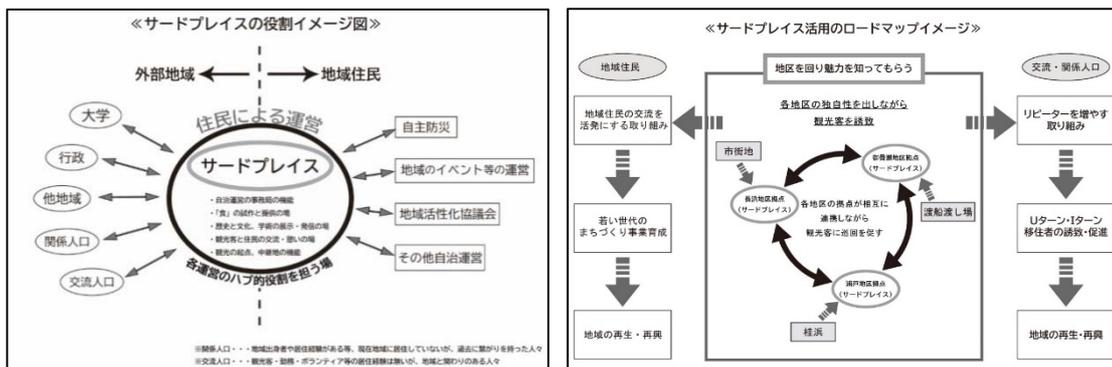
地域が力を発揮し、自立し、にぎわいのある持続可能な地域として存続するために、行政や関係機関、企業、NPO、市民が力を合わせ、一体となって取り組むための地域の推進体制の構築が必要です。



また、地域が自ら運営し、行政やその他の地域をつなぎ、観光客や仕事・買い物で訪れる人の休憩所、その場所での地域住民との交流を図るための拠点となる「サードプレイス」※についても今後、地域住民と検討を進めるとともに、クラウドファンディングを活用した資金調達などにより、地域の自立運営に向けた仕組みづくりも地域住民と検討を進めます。

※ サードプレイス

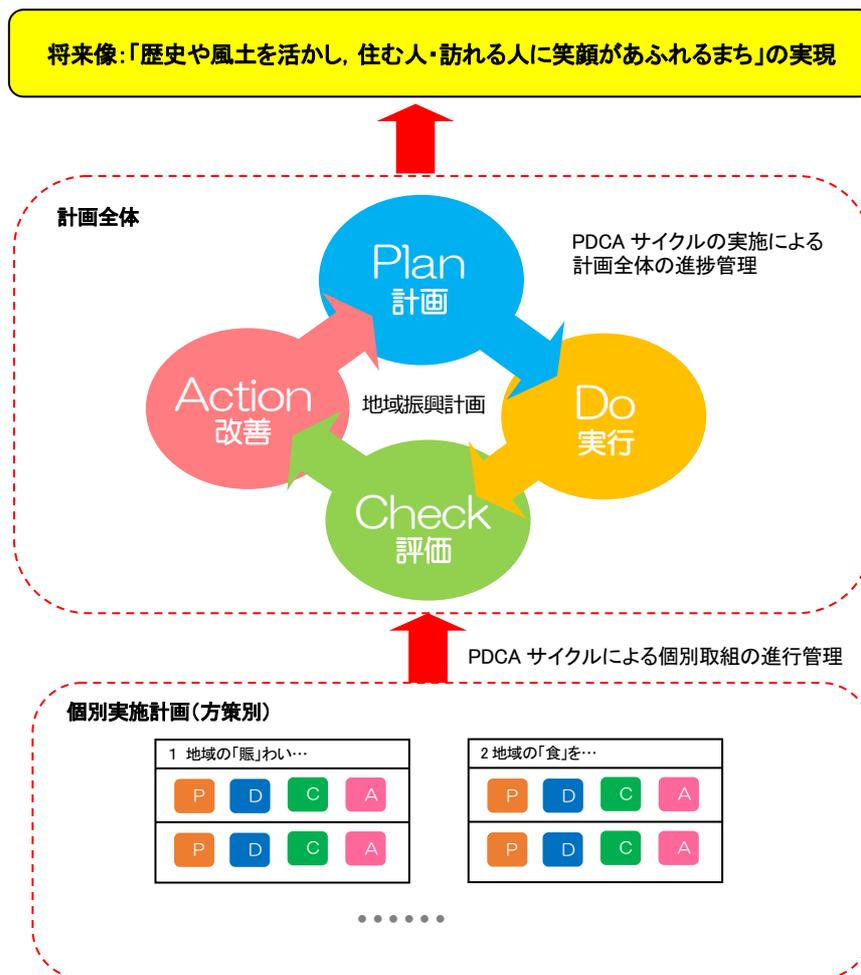
家庭などのプライベートな場所（第一の場・ファーストプレイス）、職場や学校などのパブリックスペース（第二の場・セカンドプレイス）でもない、上記二つの中間的な場所。喫茶や読書など個人的な事を楽しみながら、他の人達との交流も出来る共有スペース（第三の場・サードプレイス）。



2 計画の進捗管理

本計画の実施、推進における事業の進捗状況等については、方策ごとにそれぞれ事業計画を立て、PDCA サイクルに基づき進捗管理を行います。事業に対する個別取組は、地域で行うこと、行政で行うこと、また、行政内部でも関係課でそれぞれ取り組むことなどを整理し、進捗管理を行います。また、計画全体についても地域とともにチェック、評価、検証を行い、必要に応じて施策や事業内容の見直しを行い、PDCA サイクルに基づいた進捗管理を行います。

評価・検証については、地域住民のニーズに合っているか、地域の自立につながる取り組みとなっているか、スケジュールに沿って効果的に進められているかなどに注意しながら、将来像の「歴史や風土を活かし、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまち」の実現に向けて取り組みを推進します。



高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画
2020（令和2）年3月 発行
高知市総務部市長公室政策企画課
〒780-8571 高知市本町5丁目1-45
TEL088-823-9407/FAX088-823-9382
E-Mail : kc-010900@city.kochi.lg.jp
